

法人本部事業報告書

1 法人の目的事業

この法人は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するために、次の社会福祉事業を行うことを目的とする。

<社会福祉事業>

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営 南風・第二南風・花菜風

(2) 二種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービスセンターの経営 デイサービスセンター南風
第2 デイサービスセンター南風

(ロ) 老人短期入所事業の経営

<公益を目的とする事業>

(1) 居宅介護支援の事業

(2) 地域包括支援センターの事業

(3) 介護予防支援の事業

<地域における公益な取組>

(1) 浜松市学習支援事業受託事業「寺子屋しんづ」の運営（民児協との協働）

(2) 介護予防教室「^{たのしんで}楽心出」の運営支援、体操の指導及び会場提供

(3) 南風バンドによる出前講演と音楽、地域住民に対する福祉教育

(4) 実習生の受入れ（地域住民に対する福祉教育）

(5) 講師派遣

2 理事会・評議員会の開催

令和5年度における法人の業務を審議・決定するために、次のとおり評議員会及び理事会を開催した。

評議員・評議員会 法人運営に係る重要事項の議決機関

理事・理事会 法人の業務執行の決定機関

監事 理事の職務執行及び法人の財産状況を監査する機関

<理事会>

第1回理事会

(1) 開催日 令和5年5月24日(水)

(2) 出席者 理事5名、監事2名

(3) 議題

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第2号報告 新評議員決定の報告について

第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度計算関係書類並びに財産目録の承認について

第2号議案 経理規程の一部変更について

第3号議案 次期役員候補について

第4号議案 定時評議員会の召集について

第2回理事会（決議の省略）

(1)開催日 令和5年6月12日（月）

(2)議題

第1号議案 次期理事長の選任について

第2号議案 業務執行理事の選任について

第3回理事会（決議の省略）

(1) 開催日 令和5年9月13日（水）

(2) 議題

第1号議案 “大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業”の活用による特別養護老人ホーム南風1階部空調機更新及び全熱交換器新設工事について

第2号議案 第1号議案にかかる入札結果及び契約について

第3号議案 臨時評議員会の開催について（決議の省略）

第4回理事会

(1)開催日 令和5年12月11日（月）

(2)出席者 理事7名、監事2名

(3)議題

第1号報告 理事長の職務執行状況の報告

第2号報告 令和5年度社会福祉施設等の指導監査について

第3号報告 令和5年度事業の中間報告について

第1号議案 令和5年度第1次補正収支予算について

第2号議案 “大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業”の活用による特別養護老人ホーム南風1階部空調機更新及び全熱交換器新設工事にかかる入札について

第3号議案 定款の一部改正について

第4号議案 令和6年度業務委託契約について

第5号議案 借地の次年度契約更新について

第6号議案 嘱託医契約書等の業務委託契約更新について

第7号議案 臨時評議員会の召集について

第5回理事会

(1)開催日 令和6年3月13日(水)

(2) 出席者 理事 5 名 監事 2 名

(3) 議題

第1号報告 理事長の職務執行状況の報告

第2号報告 令和 5 年度社会福祉施設等の指導監査の結果について

第1号議案 令和 5 年度第 2 次補正収支予算について

第2号議案 令和 6 年度事業計画について

第3号議案 令和 6 年度の設備投資計画について

第4号議案 令和 6 年度資金収支予算について

第5号議案 辞任に伴う新評議員候補について

第6号議案 臨時評議員会の招集について

<評議員会>

第 1 回定時評議員会

(1) 開催日 令和 5 年 6 月 12 日(月)

(2) 出席者 評議員 8 名 監事 2 名

(3) 議題

第1号報告 新評議員決定の報告について

第2号報告 理事長の職務執行状況について

第3号報告 令和 4 年度事業報告について

第1号議案 令和 4 年度計算書類及び財産目録の承認について

第2号議案 経理規定の一部変更について

第3号議案 次期役員を選任について

第 2 回評議員会 (決議の省略)

(1) 開催日 令和 5 年 9 月 21 日(木)

(2) 決議事項

第1号議案 “大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業”
の活用による特別養護老人ホーム南風 1 階部 空調機更新及び全熱交換
器新設工事について

第 3 回評議員会

(3) 開催日 令和 5 年 12 月 22 日(金)

(4) 出席者 評議員 7 名 監事 2 名

(5) 決議事項

第1号報告 理事長の職務執行状況の報告

第2号報告 令和 5 年度社会福祉施設等の指導監査結果について

第3号報告 令和 5 年度事業の中間報告について

第4号報告 ”大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業

“の活用による特別養護老人ホーム南風1階部空調機更新及び全熱交換器
新設工事にかかる入札について

第1号議案 令和5年度第1次補正収支予算の承認について

第2号議案 定款の一部改正について

第3号議案 令和6年度業務委託契約について

第4号議案 借地の次年度更新について

第5号議案 嘱託医の業務委託契約の更新について

第4回評議員会

(1)開催日 令和6年3月27日(水)

(2)出席者 評議員6名 監事1名

(3)議題

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第2号報告 令和5年度社会福祉施設等の指導監査の結果について

第1号議案 令和5年度第2次補正収支予算について

第2号議案 令和6年度事業計画について

第3号議案 令和6年度の設備投資計画について

第4号議案 令和6年度資金収支予算について

第5号議案 辞任に伴う新評議員候補について

2 入職者・退職者の状況（法人全体）

	採用者数 ^(人)			離職者数 ^(人)		
	正職員	契約職員	合計	正職員	契約職員	合計
介護職員	7(南・第二・花)	12(南・第二・花・デ・2デ)	19	11(南・第二・花)	10(南・第二)	21
看護職員		4(南・第二・2デ)	4	1(花)	3(第二・2デ)	4
機能訓練指導員						
生活相談員	1(2デ)		1	3(南・第二・2デ)		3
介護支援専門員		1(居宅)	1		1(居)	1
栄養士	1(第二)		1	2(第二)		2
事務員						
その他	2(第二・包括)	4(第二・花・デ)	6	1(包)	4(南・第二・花・デ)	5
合計	11	21	32	18	18	36

3 年次有給休暇平均取得日数（法人全体）

事業所名		南風			第二南風		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規	328	252.5	77	392	257	66
	契約	149	133.5	90	177	135	77
看護職員	正規	54	35	65	60	36	60
	契約				22	16.5	75
その他	正規	132	92.5	70	144	125	87
	契約	111	97.5	88	105	74.5	71
事業所		花菜風			デイサービス		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規	175	113.5	65	76	69.5	91
	契約	101	95.5	95	255	229.5	90
看護職員	正規	34	32.5	96	40	26	65
	契約	13	11.5	88	20	19.5	98
その他	正規	40	31	78			
	契約	20	15	75	38	30	79
事業所		第2 デイサービス			居宅介護支援		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規						
	契約	207	195.5	94			
看護職員	正規						
	契約	70	57.5	82			
その他	正規	120	103	86	156	103	66
	契約	20	19	95	20	20	100
事業所		包括支援			全体		
区分	種類	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
介護職員	正規				971	692.5	71
	契約				889	789	89
看護職員	正規				188	129.5	69
	契約				125	105	84
その他	正規	94	75.5	80	686	530	77
	契約				314	256	82

4. 残業時間年間統計

		南風					第二南風				
職種	種類	合計	人数	平均	最大	平均	合計	人数	平均	最大	平均
介護職員	正規	1402.3	24	4.9	222.0	19.0	1546.0	25	5.2	271.8	22.6
	契約	80.50	17	0.4	37.2	3.1	284.2	16	1.5	170.5	14.2
看護職員	正規	540.0	3	15.0	191.3	15.9	201.0	3	5.6	106.0	8.9
	契約	8.0	1	0.7							
相談員	正規	239.5	2	10.0	237.0	19.8	117.8	2	4.9	104.5	8.7
機能訓練	正規	131.0	2	5.5	98.0	8.2	4.3	1	0.4		
栄養士	正規	88.5	1	7.38			25.5	1	2.1		
事務	正規	81.5	2	3.4	67.3	5.6					
		花菜風									
職種	種類	合計	人数	平均	最大	平均					
介護職員	正規	680.8	15	3.8	120.5	10.0					
	契約	8.0	5	0.1	5.5	0.5					
看護職員	正規	263.8	2	11.0	216	18					
	契約	6	1	0.5							
相談員	正規	143.5	1	12.0							
機能訓練	正規	108.5	1	9.0							
		デイ					第2デイ				
職種	種類	合計	人数	平均	最大	平均	合計	人数	平均	最大	平均
介護職員	契約	139.0	16	0.7	31.8	2.7	172.3	10	1.4	43.3	3.6
看護職員	正規	149.5	2	6.2	140.0	11.7	18.3	1	1.5	18.3	1.5
	契約	29.3	1	2.4			41.0	2	1.7	30.5	2.5
相談員	正規	194.3	1	16.2			348.0	3	9.7	255.3	21.3
	契約	5.3	1	0.4							
機能訓練	正規	196.5	2	8.2	186.3	15.5	145.0	2	6.0	75.3	6.3
	契約						0.5	1	0.1		
		居宅					包括				
職種	種類	合計	人数	平均	最大	平均	合計	人数	平均	最大	平均
ケアマネ	正規	212.3	7	2.5	94.5	7.9					
	契約	18.5	3	0.5	13.8	1.2					
事務他	正規	98.3	1	8.2			112.8	6	1.6	39.0	3.3

5 育児休業取得者の割合

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間に在職中に出産した女性(2名)のうち、令和6年4月1日までに育児休業を開始した者(2名)の割合は100%でした。

$$\text{育児休業取得率} = \frac{\text{出産者のうち、調査時点までに育児休業を開始した者の数(2名)}}{\text{調査年度1年間の出産者の数(2名)}}$$

(2) 上記育児休業開始者の延べ育児休業取得日数は72日でした。

(3) 育児休業終了後の復職者及び退職者の割合は、育児休業終了した職員が居ないため算出できません。

6 労働災害の発生状況

- 令和5年度は腰痛・転倒などの「動作の反動・無理な動作」により、受診2件、休業3日以内0件、同4日以上2件、新型コロナウイルス関連3件の労働災害が発生しました。

7 寄附の状況

(1) 寄付金

受入日	寄附者氏名	種類	金額	使途目的
R5.12.3	澤木宏之(入所者家族)	現金	100,000円	法人

(2) 寄附物品

受入日	寄附者氏名	品目	使途目的
R5.7.7	浜松茶農業協同組合	新茶 300g×3袋	施設
R5.9.25	公益財団法人鈴木道雄記念財団	車輛(スズキエブリイ)	第2デイ
R5.12.7	一般社団法人生命保険協会	車椅子	特養南風
R5.12.10	曹洞宗瑠璃山龍谷寺(寺子屋関係)	ティッシュ・洗剤・衣類洗剤	法人

8 その他(浜松市学習支援事業業務の状況)

令和6年度において、新津地区民生委員児童委員協議会及び地域の皆さまを中心とした学習支援ボランティアと協働して実施した「寺子屋しんづ」の活動状況は、次のとおりです。

なお、パワー浜松ロータリークラブさまが取り組まれている「子どもの貧困支援」「障がい者の雇用機会の確保」の活動の一つとして、参加する子どもたちに2回に渡りお弁当をいただきました。(浜松市社会福祉協議会の紹介)

- (1) 実施回数 43回
- (2) 登録人数 26人（うち登録辞退者12名）
- (3) 学習支援ボランティア 延べ314人（支援管理者を除く）
- (4) 運営ボランティア 延べ59人
- (5) 参加状況

区分	登録人数		世帯区分別人数（再掲）		
	実人数	延参加人数	生活保護	ひとり親	その他
小学2年	2人	34人	0人	34人	0人
小学3年	2人	42人	7人	35人	0人
小学4年	7人	126人	19人	99人	8人
小学5年	2人	22人	0人	21人	1人
小学6年	4人	73人	0人	62人	11人
小計	17人	297人	26人	251人	20人
中学1年	6人	90人	0人	90人	0人
中学2年	1人	7人	0人	0人	7人
中学3年	2人	8人	0人	8人	0人
小計	9人	105人	0人	98人	7人
合計	26人	402人	26人	349人	27人

9 所感

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げられた事に伴い、施設として適切な感染対策を考えながら、入所者・利用者及びその家族や地域ボランティアの方々との関係再構築を模索する年となりました。

経営状態については、物価高騰に伴う支出の増加や居宅事業の伸び悩みによる費用増加がある一方、特養施設の収益維持や補助金活用により、若干の黒字計上となりました。令和6年度は介護報酬がプラス改定となりましたが、特養南風の大規模補修工事および給食費・電気料金等の費用増加が見込まれることから、厳しい状況は変わらないと考えられます。今後も居宅事業の収益改善及び施設事業の収益維持を継続していきます。

令和5年度社会福祉法人ほなみ会施設事業報告

新型コロナウイルスが5類に移行し、特養での生活も大きく変化した一年であった。面会制限の解除や外出等、コロナ禍で失った家族を含めたケアパートナーの理念に基づき元の生活、元のケアに戻る中で様々な課題も明確となった。

＜重点項目＞

① 専門職としての職員個々のスキルを向上

リモート研修から対面研修に徐々に移行される中、職員個々の経験やスキルに合わせた研修参加ができたが、研修後のフォローアップ等が不十分となった。また、研修計画の再構築に取り組んでおり、令和6年度継続計画とした。

コロナ禍で家族の対応について教育体制が不十分となっており、接遇面での苦情が複数発生し、施設事業独自の接遇委員会を立ち上げた。

② 組織力の強化

各事業所に介護主任を配置し、生活相談員、ユニットリーダーとの業務分担が徐々にできてきており、多職種連携体制の強化につながった。反面入退職が非常に多くなり、施設全体の組織力の強化には課題が残った。

また、特養平均稼働率が98.9%となり昨年度に比べ0.6%上昇した。第二南風は21件の入退去があり、職員の入退職がある中で稼働率が維持できたのは、評価できる。

③ 働きやすい職場作りを強化

有給取得率は徐々に向上しており、有給休暇を取得しやすい組織づくりは継続する必要があると痛感している。また、第二南風のカビ発生原因が判明し、現在修繕工事を実施している。今後再発生が無ければ、開設2年目から抱えてきた課題が解消される。

	南風	短期入所	第二南風	花菜風
稼働率	98.7%	77.6%	98.4%	99.6%
入職者	正規介護職 2名 契約介護職 5名 歯科衛生士 1名		正規介護職 3名 契約介護職 3名 契約看護職 2名 管理栄養士 1名 介護補助 2名	正規介護職 2名 契約介護職 1名 介護補助 2名
離職者	正規介護職 2名 契約介護職 4名 歯科衛生士 1名		正規介護職 7名 契約介護職 1名 契約看護職 2名 管理栄養士 2名	正規介護職 1名 契約介護職 1名 正規看護職 1名
取組み達成度平均	60.9%		64%	54.1%
苦情受付	5件(昨年度比+5)		0件(昨年度比±0)	0件(昨年度比±0)
行政報告事故	11件(昨年度比+2)		5件(昨年度比-2)	1件(昨年度比-3)

※各事業所詳細の事業報告は別紙参照

《地域活動及び外部連携事業》

地域活動や外部との連携は、施設長のみでなく多職種が参加して地域福祉の推進や、福祉の仕事人材確保に積極的に協力をしている。一年間の活動を報告する。

1. 地域活動

年 4 回	倉松町サロン	南風バンド、健康体操等
9 月 3 日	倉松町防災	地域合同防災訓練
10 月 18 日	元城・縣居地区民生委員	施設見学
10 月 28 日	倉松町シニアクラブ	介護保険説明会

2. 静岡県事業

7 月 10 日	介護の未来ナビゲーター	委嘱式
9 月 15 日	介護の未来ナビゲーター	浜松大平台高等学校

3. 静岡県社会福祉協議会事業

6 月 2 日	浜松市立積志中学校	セミナー
6 月 8 日	人材確保研修	実践報告
6 月 9 日	浜松市立新津小学校	セミナー
8 月 9 日	福祉のしごと学び体験ツアー	リモート見学・機器体験
8 月 29 日	介護のイメージアップ(シアワセノレンサ)	作成協力
9 月 4.5 日	浜松市立蒲小学校	セミナー
9 月 15 日	浜松市立舞坂小学校	セミナー
9 月 22 日	浜松市立中ノ町小学校	セミナー
10 月 3.19 日	浜松市立葵が丘小学校	セミナー
10 月 11 日 1 月 16 日	福祉職員キャリアパス生涯研修	チームリーダー研修講師

4. その他

6 月 6 日	静岡県立大学短期大学部	認知症介護講話
6 月 16 日	ハローワーク	介護職セミナー
10 月 6 日	静岡県立大学短期大学部	組織づくり講話
10 月 22 日	聖隷クリストファー大学	認知症介護講話
10 月 27 日	ハローワーク職場説明会	施設見学・介護講座
通年	静岡県老人福祉施設協議会	研究大会実行委員会
通年	浜松市社会福祉施設協議会	監事
通年	静岡県個室ユニット型施設連絡会	理事

《表彰等》

特別養護老人ホーム南風

- 令和 5 年度介護職員の働きやすい職場づくり厚生労働大臣奨励賞受賞
- 静岡県高齢者福祉研究大会優秀賞受賞(関東ブロック大会に推薦)
演題：その人らしさを認め合う～「承認」に着目した取り組み～
発表者：中西美保・兵頭千華

令和5年度特別養護老人ホーム南風事業報告

I.【特別養護老人ホーム南風運営評価】

- ① 今年度大きな取り組みとして、特養南風交代勤務の勤務時間変更を行った。自分たちの職場を自分たちで変えていくという視点と実践ができた。評価をし、検討し続けることが課題となる。
- ② 朝ミーティングでは「毎日行う」ことで継続する力を養った。伝える責任感ができ、来年度も継続性と新たな目標を踏まえていく。
リーダー育成も課題継続とし、ユニットリーダーとして目指すべき姿を形とする。
- ③ 年間稼働率は98.7%となり目標の99.5%を下回った。コロナ感染拡大や入院、骨折事故も多く支援が滞ることのない準備をしていく。
有給取得に関してはコロナ感染など、去年に引き続き取得率70%を上回った。

1.介護職員

【なずな】

- ① ケア変更時にカンファレンスを行ったが、限られた入居者のみとなってしまった。また、その後の評価の場がユニット会議まで持ち越しとなっていた。評価カンファレンスを行うという意識の定着に至らなかった。(達成率70%)
- ② 年度初めの数回のみで開催で、継続的な開催ができなかった。個々の職員が入居者に対し、どのような介護技術の向上を目標としているのか検討し、取り組む必要があった。(達成率20%)
- ③ チェックリストを作成し行ったことで、意識づけとなったが自己チェックを行う根拠や目的を明確にできず継続できなかった。(達成率60%)

【すずしろ】

- ① 研修や学習発表会を通して、自分が学びたいことについて取り組み知識を深めることができた。しかし、段階的な取り組みとしては出来ず、計画の一環として行ったのみとなってしまった。(達成率25%)
- ② チェック表を活用し、環境整備を行ったが主に日勤者が行うことが多くユニット職員の役割として捉えて行うことは少なかったように思う。(達成率50%)
- ③ 3か月に一度のモニタリング時に思いやニーズの聞き取りを行い、普段の言動から努めることができた。サービス担当者会議で共有することで日々のケアや関わりに活かすことができた。(達成率75%)

【なでしこ】

- ① 他職員の声掛けや気づきにより、ケア変更の発信することはできた。根拠をもとに発信することができず変更することに重点を置いてしまった。(達成率85%)

- ② チェックリストを用いて環境整備を行ったが、チェック表の掲示が分かりにくかったのもあり取り組みへの意識が低く継続に至らなかった。(達成率 50%)
- ③ 共有ノートへの記載が少なく検討会の開催までつなげることができなかった。ケア変更時、カンファレンス記録に残すことは行えた。(達成率 25%)

【ききょう】

- ① 職員視点での検討は行えたが、本人から直接聞いたことの検討はできなかった。しかし、検討し変更したケア内容の実践はできた。(達成率 85%)
- ② ユニット独自のチェックリストを作成し環境整備に取り組んだが、毎日の継続ができず、実施する職員にも偏りがでた。(達成率 70%)
- ③ 共有ノートから課題をあげユニット会議内での課題検討となっしまい、検討会の開催は1回しかできなかった。(達成率 25%)

2. 看護職員

- ① 介護研修への参加は年1回の参加はでき、研修内容の報告も行えた。(達成率 100%)
- ② 入居時面談は、年度前半は参加ができたが、後半は調整不足で参加できないことが多かった。多職種との連携は他職種からの情報提供はあったが、看護からの声掛けが足りなかった。(達成率 70%)
- ③ 自施設の会議に参加する機会が少なくケア内容の伝達ができなかった。
看護学生に対しては的確に指導することができたが課題は残った。(達成率 50%)

3. 管理栄養士

- ① 給食協会の研修や、外部の研修に参加した。(達成率 60%)
- ② ユニット職員からの発信が多く自分発信が少なかったが意識し伝えることができた。(達成率 60%)
- ④ 担当者会議やカンファレンスでは文書や口頭で専門用語を使わず伝えることができた。(達成率 70%)

4. 歯科衛生士

- ① 外部研修への参加できたが、報告まではできなかった。(達成率 50%)
- ② 多職種から情報の開示を求められたが、専門職としての助言ができない時もあった。年度後半は連携が徐々にとれるようになった。(達成率 70%)
- ③ サ担への参加はできたが、カンファレンス開催時の共有がうまくできず事後報告になることが多かった。連携をどのようにしてとっていくか課題となっている。(達成率 70%)

5. 機能訓練指導員

- ① 同じ研修に機能訓練指導員全員で参加ができ、修得した知識や技術を入居者事にアレンジしポジショニングや皮膚トラブル対策の実践ができた。(達成率 100%)
- ② 他施設の課題を直接確認し合うことで、一人では解決しにくい問題も協力しスムーズに解決へと導いた。また、他施設の入居者への関心も高まり集団体操等で確認も行えた。(達成率 80%)
- ③ モニタリングでの定期的な確認をすることで細かな修正や、褥瘡ができないよう事前に対応することができた。多職種との連携の中で、姿勢に関心が高まっている実感も得た。(達成率 100%)

6.相談員

- ① 朝ミーティングを年間通し継続できたことが施設の力にもつながった。発信力を引き出すファシリテーターの役割までは担えていない。(達成度 80%)
- ② 計画的に知識向上の場として行えず、職員の配置転換に時間を費やすことも多かった。今年度途中より、介護主任も含めて会議開催ができることで相談員、介護間の共有ができた。(達成率 10%)
- ③ 新しく相談員を配置したときは、相談員業務の同行ができた。(達成率 20%)

7.介護支援専門員

- ① モニタリングで出た課題は、サービス担当者会議で検討し実践につなげることができた。(達成率 100%)
- ② コロナ禍の時はコロナ延長の措置をとった入居者も多く一年後の更新時には状態変化あり介護度が上がる入居者が多かった。適切な介護度の認定のため更新前に区分変更をかける意識を介護支援専門員同士で持つ。(達成率 40%)
- ③ プランに生活の一つ一つに対する意向を確認し記載し、また介護職員からも普段の会話の中からニーズを聞き出しモニタリングで反映するなど直接的な意向の確認ができた。また、意思を伝えることができない入居者に対しての意向を汲み取ることについての検討をしていく。(達成率 70%)

IX.短期入所生活介護

- ① 本人・家族の意向を確認しケアプランに反映した。アセスメント表を改善し、本人の意向等を明確化し、ケアの統一を図った。(達成率 70%)
- ② 南風のケアマネとは記録を通して情報共有行い、他事業所のケアマネに利用中の様子をファックスしお知らせした。(達成率 100%)
- ③ 新規利用者や他事業所からの情報を朝ミーティングで共有したが、定期開催や会議は行えなかった。(達成率 0%)

【年間稼働率】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
82%	78%	72%	78%	74%	72%	75%	86%	76%	73%	85%	80%

介護保険事業者事故報告（浜松市へ報告事例）

5件

- ・リビングにて転倒。受診対応し、腰椎圧迫骨折。
- ・居室にて転倒。救急搬送し、右大腿骨頸部骨折。
- ・居室にて転倒。受診対応し、肋骨骨折。
- ・居室にて柵外しベッドより転落。顔面打撲。
- ・居室にて転倒。救急搬送し、右大腿骨骨折。

II. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	1	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	2	11
退去	1	3	1	1	0	0	0	1	1	2	1	1	12

2. 退去理由

性別	理由	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡(病院)	死亡(南風)	計
男		0	0	0	0	1	4	5
女		0	0	0	0	3	4	7
計		0	0	0	0	4	8	12

3. 今年度入居者の入居前の状況

性別	区分	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男		4	0	0	0	4
女		7	0	0	0	7
計		11	0	0	0	11

4. 年齢別 (令和5年3月31日現在)

性別	年齢	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男		0	1	0	2	1	2
女		1	0	3	4	4	13
計		1	1	3	6	5	15
性別	年齢	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男		1	1	0	8	83歳	
女		9	7	0	41	86歳	
計		10	8	0	49	85歳	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】 ※各月末実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
要介護2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
要介護3	23	23	23	23	24	23	23	23	23	22	22	19	271
要介護4	9	9	9	10	10	10	11	11	12	14	14	18	137
要介護5	13	13	13	12	12	13	13	12	11	9	9	9	139
合計	50	49	49	49	50	50	50	49	49	48	48	49	590
平均介護度	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	60	45	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
要介護2	90	93	90	93	93	90	62	60	62	62	58	62
要介護3	666	720	703	713	738	690	713	690	713	670	665	595
要介護4	280	279	270	297	310	300	341	330	344	434	402	541
要介護5	390	389	390	400	372	390	403	389	366	309	261	279
合計	1486	1526	1483	1534	1544	1500	1550	1499	1516	1506	1415	1508
稼働率(%)	99.1	98.5	98.9	99	99.6	100	100	99.9	97.8	97.2	97.6	97.3

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1

入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計
人数	1	3	1	0	4

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊(延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ. 入居者の生活状況（令和4年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分	自立 (見守り含)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男		7	1	0	0	8
女		28	4	11	0	41
計		35	5	11	0	49

2. 入浴状況

性別	区分	見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴(寝浴)	計
男		0	8	0	8	1	7	0	8
女		0	30	11	41	3	27	11	41
計		0	38	11	49	4	34	11	49

3. 排泄状況

性別	区分	自立(排泄前 後の確認含)	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	膀胱ろう	バルーンカ テーテル
男		1	6	1	8	1	0	0
女		6	25	10	41	1	0	0
計		7	31	11	49	2	0	0

4. 移動状況

性別	区分	独歩(不安定含)	杖	車椅子	車椅子(介助)	シルバーカー	歩行器	計
男		0	1	5	0	2	0	8
女		8	1	8	18	5	1	41
計		8	2	13	18	7	1	49

5. 更衣状況

性別	区分	自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男		0	0	8	0	8
女		3	0	24	14	41
計		3	0	32	14	49

IV. 実施した行事等

行事名	月日	時間	内容
茶娘	5月11日	14:00～15:00	職員が茶娘の衣装を着て新茶を振る舞う
敬老会	9月20日	14:00～15:00 11:30～13:30	職員による余興や敬老のお祝い品の贈呈
秋祭り	11月27日	10:30～15:00	法人秋祭りに代わる催しとして、2階3階に分かれて、出店やゲームを開いた
クリスマスケーキ作り	12月25日	14:00～15:00	クリスマスケーキのデコレーションを楽しむ
節分	2月3日	14:00～15:00	鬼にボーロを投げ、おかしまきをする

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

なずな	誕生レク・おやつ作り・映画鑑賞
すずしろ	誕生レク・おやつ作り・天ぷら作り
なでしこ	誕生レク・おやつ作り
ききょう	誕生レク・おやつ作り

V. 施設内学習会

種類	日時	内容	講師（発表者）
	5月 書面開催	感染（手洗い・手指消毒）	感染委員会
	7月 書面開催	感染（新型コロナウイルス感染症BCP机上訓練）	感染委員会
	6月 集合開催	不適切なケアを考えよう	身体拘束防止委員会

法人勉強会	10月 書面開催	感染（ノロウイルスBCP感染予防、食中毒防止）	感染委員会
	12月 書面開催	事故防止について	事故防止委員会
	12月 実施訓練	嘔吐処理実施訓練	感染委員会
	12月 集合開催	虐待と感じたら	身体拘束防止委員会
	3月 書面開催	事故対応・報告書	事故防止委員会
特養勉強会	1月 動画視聴	認知症（意思決定支援）	相談員
	3月 書面開催	ターミナルケア （看取り介護における指針）	看護職員
	3月 書面開催	義歯の取り扱い方法	歯科衛生士
学習発表会	8月 12月 2月 17:45～18:45 施設内開催	南風 2階：飲みニケーション 3階：入居者の気持ちの引き出し方 第二南風 2階：ユニットケア 3階：介護現場におけるストレスマネジメント 花菜風 ニーズを引き出してその先へ	介護職員 看護職員 相談員 管理栄養士 機能訓練指導員

VI. 実習・体験学習受け入れ

【介護福祉士単位実習】

学 校 名	人数	期 間
浜松修学舎高校	1名	7月3日～7月20日の13日間
聖隷クリストファー大学	2名	8月18日～9月20日の23日間
	2名	2月7日～3月14日の23日間

【老年看護学実習】

学校名	人数	期 間
浜松市立看護専門学校	3名	7月10日～7月26日
		8月31日～9月20日

Ⅶ. 苦情受付件数

受付日	申立者	内容
R5. 5. 2	親族	・依頼した着用衣類について、実施してもらえていない ・不憫な思いをすることなく生活して欲しい
R5. 6. 23	親族	・面会時に職員から本人に対する声掛けが少ない ・布団乾燥機使用後に特に声掛けなく火傷しないか心配
R6. 7. 11	匿名	・受診時や面会時の職員対応(施設全体)の対応が以前に比べ質の低下がある。南風が悪くなってほしくない。
R6. 7. 15	匿名	・面会時居室の温度管理がされていなかった
R6. 11. 13	本人(SS)	・言葉のキツイ職員に気を遣ってしまい辛い ・鞆の中の荷物を整理して返して欲しい

Ⅷ. ヒヤリハット・事故報告

(事故)

1. 事故内訳

転倒・転落	196
薬剤	48
外傷	17
エスケープ	24
異食	43
誤飲	4
その他	55
合計	387

2. 所見

異常なし	294
創傷	5
打撲	8
内出血	10
骨折	8
その他	62
合計	387

3. 発生場所

居室	141
トイレ	12
リビング	201
廊下	0
浴室	9
その他	14
合計	387

5. 介護保険事業者事故報告 (浜松市へ報告事例)

(1) 分類

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
2	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
3	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
4	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
5	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
6	介助ミス	打撲	介助ミスによる痛み	見舞金
7	義歯破損	破損	破損した状態で発見	賠償金
8	転倒	骨折	介助に痛みあり	なし
9	転倒	骨折	居室で転倒している	見舞金
10	転倒	骨折	フロアで転倒している	見舞金
11	転倒	骨折	トイレで転倒している	なし

令和5年度特別養護老人ホーム第二南風事業報告

I. 【特別養護老人ホーム第二南風運営評価】

- ① ユニットごとに情報伝達ツールを用いて実施することができた。ツールを使用せず、勤務が重なっている時に共有していることがあった。情報共有への意識は以前より高まっていた。
- ② 職員育成への意識が継続せず、中堅職員の育成が進まなかった。次年度は新人職員が多く入る為、プリセプター制度の確立、施設全体で育成する意識を高めていきたい。
- ③ 21件の入退去があり、スムーズな支援ができなかった。稼働率 98.4%にとどまった。想定外の退去にも対応できるように事前準備をしていく。
- ④ 有給取得方法選択制により、有給取得率 70%以上を達成することができた。次年度も、有給取得方法選択制を継続し計画的に取得することで、取得率向上を目指す。

1. 介護職員

【あやめ】

- ① その都度のケアカンファレンスが後手になってしまい、ターミナル期間も振り返りの際に課題が多く残った。(達成率 30%)
- ② 個別レク、ケア変更等入居者の変化やニーズの聞き取りが不足しており、作業的なケアになっていたように感じる。(達成率 20%)
- ③ ユニットの事業計画の項目にするには難しい内容だった。(達成率 10%)

【さつき】

- ① 事前にユニット職員の意見を聞き対象者を決め、ユニット会議内でケアについて話し合うことができた。しかし、感染症対策の為 1 2月と 3月が書面開催とった。(達成率 80%)
- ② 4月 5月 3月以外開催ができた。(達成率 80%)
- ③ 2月に実施し、3月も実施予定であったが書面開催となり実施できなかった。(達成率 50%)

【つばき】

- ① 月に1度の頻度でユニット職員が書き込みを行い、他職員が確認チェックをしていた。今後は職員の疑問を定期的な書き込み、他職員からアドバイスをもらい問題解決を早く行えるようにする。(達成率 50%)
- ② 動画、マニュアル作成できていた。それにより細かいケアや分かりにくいケアの統一ができた。(達成率 80%)
- ③ サービス担当者会議や会議中止の時以外実施できた。ADL 評価の項目ごとに行ったが、項目によっては話す内容が少なくなったため、項目の見直しが必要だった。(達成率 80%)

【かりん】

- ① ユニットのだれもが目に届くところに職員自身の強みや弱みを掲示することで、各職員の苦手分野を知ることができた。各職員の強みを生かし、ケアなどに反映していくことがあまりできなかった。(達成率 75%)
- ② ヒヤリハット振り返りのみのファイルを作成した。ヒヤリハットを起こした日にユニット職員が出勤しておらず、フィードバックが遅れてしまった。(達成率 60%)
- ③ タブレット内のメモ機能を使用し、情報共有ができた。記録を打つことはあったが、メモ機能を活用することが少なかった。(達成率 50%)

【かえで】

- ① 入居者の体調の変化を発信することができた。記録を確認しそれをもとに話し合いができた。自分の意見を会議内で発言できた。根拠を持った情報の発言を心がけ、他職員の発言を否定せずフォローができた。(達成率 80%)
- ② 他職員から情報を聞き対応することができた。体調の変化に気づくことができ、他職員と共有し、カンファレンスを開くことに繋がられた。カンファレンス実施後の発信が遅くなるがあったので注意したい。(達成率 70%)
- ③ その人らしく暮らせるケアを意識し他職種と連携ができた。勉強会などを通して法人理念を再認識できケアすることができた。ケア統一後に決められた通り実施できていないことがあったため、継続できるようにしていく。ユニット内の情報共有は出来ていたが、他職種への発信が遅くなっていた。(達成率 70%)

【ぼたん】

- ① 3ヶ月に一度の実施としたが提出率が低くチェックリストの活用ができなかった。(達成率 20%)
- ② 勤務が重なる時に直接話し合うことが多く、ツールを使用することができなかった。チェックリストの裏に記入用紙を作成し、ユニット会議内で伝える時間を作る。(達成率 100%)
- ③ 対象者不在となり、他の指導體制を整えることができなかった。

2. 看護職員

- ① 「病院ではない施設看護師の専門性と具体的な動き」受講全 4 回
「家族の『心の揺れ』を支援する看取り期に望まれる実際のケア」受講全 3 回
「介護職員向け、感染対策研修」受講 (100%)
- ② 肺炎球菌ワクチンの年間接種計画を立て実施。職員の異動・退職があり、引継ぎで業務を兼務した。異動後、感染対策委員として物品の補充や確認等を行った。(75%)
- ④ 夕方の申し送りで個々の情報を細かく伝えることで、夜間帯の対応に問題なく適切な宅直コールができたが、新人への細かな配慮が不足していることがあった。回診の情報共有が難しく、今後の課題となった。(70%)

3. 管理栄養士

- ① 給食協会の研修や、外部の研修に参加した。(達成率 60%)
- ② ユニット職員からの発信が多く自分発信が少なかったが意識し伝えることができた。
(達成率 60%)
- ① 担当者会議やカンファレンスでは文書や口頭で専門用語を使わず伝えることができた。
(達成率 70%)

4. 機能訓練指導員

- ① 機能訓練の朝の集まりでポジショニング、シーティングに関する指示を仰ぐことで改善につなげることができた。個々のスキルに関して、新規入居者の対応時に応用することができた。感染症対策で集まれなかった際も、その都度電話で指示を仰ぐことができた。(達成率 100%)
- ② 全入居者へ何かしらの関わりを持つことができた。体調不良者や拒否により関わりが持てない月があった。また、訴えの多い方、シーティング・ポジショニングに課題の多い方への関わりが多くなり偏りがあった。集団体操等で関わりを多くしていきたい。(達成率 100%)
- ③ 初めは口頭及び記録で伝わりにくいことがあり、動画や写真を使用することで伝わりやすさを感じた。また、全員へ浸透するまでに時間を要することもあった。伝達方法の検討をしていきたい。(80%)

5. 歯科衛生士

- ① 外部研修への参加できたが、報告まではできなかった。(達成率 50%)
- ② 多職種から情報の開示を求められたが、専門職としての助言ができない時もあった。年度後半は連携が徐々にとれるようになった。(達成率 70%)
- ③ サ担への参加はできたが、カンファレンス開催時の共有がうまくできず事後報告になることが多かった。連携をどのようにしてとっていくか課題となっている。
(達成率 70%)

6. 生活相談員

- ① 相談援助技術の向上のための外部研修へ行くことができず、会議内での事例検討ができなかった。(達成率 10%)
- ② 自身の役割については達成ができたが、協働に関しては他施設相談員への配慮ができていなかった。(達成率 60%)
- ③ リーダー会議内で確認をしていたが、中期から実施で来ていない事や進捗状況が緩やかになっていた。中期に再度伝え、遂行を促したが十分な職員育成ができたとは言えない。(達成率 30%)

7. 介護支援専門員

- ① 入居後一週間以内のカンファレンス開催は 10%にとどまったが、2 週間以内の開催は 60%できた。残りは、大きな課題のない入居者であることが多いが、意識して開催できるように働きかけをしていきたい。(達成率 50%)
- ② 各ユニットサービス担当者会議内で多職種の見解を取り入れ本プラン作成ができてい
る。(達成率 100%)
- ③ 入居者の思いを汲み取れないことも多く、ご家族からの意見が多くなってしま
う。ご家族とは面会時やプラン変更時に聞き取りを行い、情報共有・意向確認ができた。(達
成率 80%)

II. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	1	1	0	0	1	2	2	5	3	1	3	2	21
退去	0	1	0	0	1	4	4	3	3	1	2	2	21

2. 退去理由

性別	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡(病院)	死亡(第二南風)	計
男	0	0	0	0	0	2	2
女	0	0	0	2	4	13	19
計	0	0	0	2	4	15	21

3. 今年度入居者の入居前の状況

性別	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男	3	0	1	2	6
女	9	1	0	5	15
計	12	1	1	7	21

4. 年齢別 (令和3年3月31日現在)

性別	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男	0	0	2	4	3	4
女	0	0	1	4	6	12
計	0	0	3	8	9	16
性別	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男	3	1	0	17	84.1歳	
女	11	7	1	42	88.1歳	
計	14	8	1	59	87歳	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】 ※各月末実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	2	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	38
要介護2	4	4	3	3	2	2	2	3	4	3	3	2	35
要介護3	18	19	19	19	19	17	13	13	14	12	14	16	193
要介護4	24	22	21	21	20	25	27	27	27	28	26	26	294
要介護5	12	13	13	13	15	15	15	16	13	13	14	13	165
合計	60	61	60	60	60	62	60	62	61	59	60	60	725
平均介護度	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	60	93	120	124	124	90	93	90	93	93	87	93
要介護2	120	124	90	93	93	60	62	60	124	96	115	93
要介護3	537	570	570	589	589	481	397	387	402	372	384	454
要介護4	720	655	630	651	598	712	796	762	818	839	710	803
要介護5	360	403	390	403	450	428	456	433	377	400	406	378
合計	1797	1845	1800	1860	1854	1771	1804	1732	1814	1800	1702	1821
稼働率(%)	99.8	99.2	100	100	99.7	98.4	97	96.2	97.9	96.8	97.8	97.9

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	3	2	1	2	2	2	0	2

入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計
人数	5	7	1	2	15

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊(延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

III. 入居者の生活状況（令和4年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分	自立 (見守り含)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男		12	1	2	1	16
女		28	9	4	2	43
計		40	10	6	3	59

2. 入浴状況

性別	区分	見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴(寝浴)	計
男		1	8	7	16	1	12	3	16
女		2	22	19	43	6	33	4	43
計		3	30	26	59	7	45	7	59

3. 排泄状況

性別	区分	自立(排泄前後の確認含)	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	膀胱ろう	バルーンカテーテル
男		3	11	2	16	7	0	1
女		8	26	9	43	13	0	0
計		11	37	11	59	20	0	1

4. 移動状況

性別	区分	独歩(不安定含)	杖	車椅子	車椅子(介助)	シルバーカー	歩行器	計
男		3	0	6	5	1	1	16
女		5	0	11	19	6	0	41
計		8	0	17	24	7	1	57

5. 更衣状況

性別	区分	自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男		0	3	8	5	16
女		1	9	22	11	43
計		1	12	30	16	59

IV. 実施した行事等

行事名	月日	時間	内容
茶娘	5月12日	14:00-15:00	職員が茶娘になり、クイズや歌を一緒に行い、新茶を楽しむ。
ちらし寿司レク	5月18日	11:30-13:00	2階 寿司、ちらし寿司の提供。ネタを数種類をセレクトして楽しむ。

スイカを食べるレク	7月25日	14:30-15:00	各ユニットでスイカ割りを行う。
夏祭り	8月10日	14:00-15:00	ボーリング、玉入れ、テーブルボーリングを各ユニットで実施。おやつ:チョコバナナ
敬老会	9月20日	14:30-15:30	祝い年の方の紹介、プレゼントを渡す。ケーキバイキングを行う。
秋祭り	11月22日	11:00-13:00/14:00-15:00	たこ焼き、お好み焼きの提供。カラオケ、射的、お菓子釣りを楽しむ。
クリスマス会・忘年会	12月21日	12:00-15:00	昼食時におでんセレクトを行う。おやつの際に担当職員からのクリスマスカードを渡し、ケーキ・ムースバイキングを楽しむ。
新年会	1月26日	14:00-16:00	カラオケ大会、太鼓パフォーマンス鑑賞。
節分	2月2日	14:00-15:00	鬼に扮した職員がユニットを周り、豆をまく。職員がお菓子を巻き、各自取り楽しむ。
ひな祭り	3月3日	14:00-15:00	事前にひな人形づくりをし、当日はおやつを楽しむ

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

つばき	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り
あやめ	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り
さつき	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り
ぼたん	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り
かりん	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り
かえで	誕生日レク（プレゼント）、おやつ作り

V. 施設内学習会

種類	日時	内容	講師（発表者）
法人勉強会	4月 ユニット会議	認知症、スピーチロックについて	特別養護老人ホーム 相談員
	5月 書面開催	感染（手洗い・手指消毒）	感染委員会
	7月 書面開催	感染（新型コロナウイルス感染症BCP机上訓練）	感染委員会
	6月 集合開催	不適切なケアを考えよう	身体拘束防止委員会
	10月 書面開催	感染（ノロウイルスBCP感染予防、食中毒防止）	感染委員会
	12月 書面開催	事故防止について	事故防止委員会
	12月 実施訓練	嘔吐処理実施訓練	感染委員会
	12月 集合開催	虐待と感じたら	身体拘束防止委員会
	3月 書面開催	事故対応・報告書	事故防止委員会
特養勉強会	1月 動画視聴	認知症（意思決定支援）	相談員
	3月 書面開催	ターミナルケア （看取り介護における指針）	看護職員
	3月 書面開催	義歯の取り扱い方法	歯科衛生士
学習発表会	8月 12月 2月 17:45～18:45 施設内開催	南風 2階：飲みニケーション 3階：入居者の気持ちの引き出し方 第二南風 2階：ユニットケア 3階：介護現場におけるストレスマネジメント 花菜風 ニーズを引き出してその先へ	介護職員 看護職員 相談員 管理栄養士 機能訓練指導員

VI. 実習・体験学習受け入れ

【介護職場体験】

浜松市立看護専門学校	5名	7月10日～7月26日
	5名	8月29日～9月12日

VII. 苦情受付件数

0件

VIII. ヒヤリハット・事故報告

1. 事故内訳

転倒・転落	157
薬剤	51
外傷	30
エスケープ	1
異食	5
誤飲	0
その他	27
合計	271

2. 所見

異常なし	162
創傷	9
打撲	4
内出血	3
骨折	2
その他	91
合計	271

3. 発生場所

居室	77
トイレ	23
リビング	157
廊下	5
浴室	0
その他	9
合計	271

(1) 分類

5. 介護保険事業者事故報告（浜松市へ報告事例）

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	不明	左脛裂傷	本人からの自己申告にて発覚。シルバーカーの金具部分でけがをしたと思われる。受診。	見舞金
2	転倒	右手第1指打撲	フローアにて椅子から立ち上がり、後ろに倒れる。受診。	見舞金
3	義歯破損	義歯破損	職員が気づかず床に落ちていた義歯を踏んでしまい破損する。歯科往診義歯修理対応。	賠償金
4	転倒	右大腿骨転子部骨折	自走中、車椅子より転落。痛みあり受診。入院し手術をする。	見舞金
5	転倒	左大腿骨骨折	居室で転倒。痛みあり受診。入院、手術。	見舞金

令和5年度 特別養護老人ホーム花菜風 事業報告

I. 特別養護老人ホーム花菜風 運営評価

- ① 職員の入れ替わりが多く、職員指導の面では横のつながりを活用したフォロー体制やコミュニケーションがとれていた。係・委員会活動や勉強会開催について継続した運営ができず、職員が自分事として捉えることにも課題が残る。
- ② 「10分カンファ」として食事や排泄など項目を絞ったカンファレンスを開催し、その都度ケア内容への反映を目指した。介護職員発信のカンファレンスを開催することができたが、回数としては少なかった。実施の方法や実施後の評価、継続的なケアの実施が不十分であったため、次年度も継続して取り組んでいく。
- ③ 例年に比べ入退去件数が少なく、年間稼働率 99.5%を達成した。
- ④ 有給休暇取得率目標の 70%に達した職員は花菜風全体の 60%であり、交代勤務をしている介護職員の取得率を改善していく必要がある。

1. 介護職員

【花水木】

- ① 記録忘れが多く、取り組みとしての達成度は低い。しかし、関わり方や言葉遣いに変化が見られたことを実感できた。日めくりカレンダーの形で掲示したことにより 1 日の目標が明確になり、職員の経験年数に差があるため優しい目標設定にしたことでどの職員も評価がしやすかった。(達成度 25%)
- ② 実施回数も 3 回と少なく、ケアに活かせる希望の聞きとりや入居者の希望を叶えることができなかった。入居者自体も集いの場に消極的で、開催時は方法を試行錯誤したが会話も弾まず、入居者の ADL に合わせた取り組みを考える必要がある。(達成度 25%)

【花菱草】

- ① 初めてこの取り組みを行い、最初は職員も意識して用紙に記入することができていたが、6 月以降は用紙の記入ができていなかった。言葉で感謝を伝える事は 1 年通してできていたが、可視化が上手くできなかった。(達成度 35%)
- ② 入居者の ADL の変化に気づき、他職種を交えて 10 分カンファを行う事ができていた。しかし、居室担当職員からの自発的な実施ではなく、多職種やユニットリーダーから開催を促すことが多かった。(達成度 40%)

【花菖蒲】

- ① 毎月目標をたてて振り返ることができ、目標に対して一人一人が意識して考え動くことができた。しかし、会議内で時間がとれずユニット職員全体で話す事ができず、目標の立て方に課題が残った。(達成度 30%)
- ② 職員によりカード記入にばらつきがあり、会議内でも連絡をしていたが個々の受容・承認の意識に差が出てしまった。カードがあることで可視化でき、話すだけでなく目で見て受け取ることができたことは良かった。(達成度 30%)

2. 看護職員

- ① 職員の施設間移動もあり業務に余裕が無く、研修会への参加は職員1名1回のみであった。(達成度 50%)
- ② 3ユニット回診終了後の看護会議ではなく、各ユニット回診前に事前にユニット職員とも相談したうえで医務カンファレンスを実施するように取り組み内容を変更し、問題点や処置の評価などこまめにできるようになった。ほのぼののケース記録に残すことで多職種との情報共有にも繋がった。(達成度 100%)
- ③ 看護師1人勤務の日もあるため、必ず介護ケアに入れたわけではないが、可能な限り食事介助や、排泄介助、移乗など関わるように出来た。(達成度 80%)
- ④ その都度、気になったことや看護からの提案などをカンファレンスや会議を通して多職種と話し合い、個別対応実施や評価に繋げることができた。(達成度 100%)

3. 管理栄養士

- ① 給食協会の研修や、外部の研修に参加した。(達成度 60%)
- ② ユニット職員からの発信が多く自分発信が少なかったが意識し伝えることができた。(達成度 60%)
- ③ 担当者会議やカンファレンスでは文書や口頭で専門用語を使わず伝えることができた。(達成度 70%)

4. 歯科衛生士

- ① 外部研修への参加できたが、報告まではできなかった。(達成度 50%)
- ② 情報の開示を求められたが、専門職としての助言ができない時もあった。年度後半は連携が徐々にとれるようになった。(達成度 70%)
- ③ 多職種からサ担への参加はできたが、カンファレンス開催時の共有がうまくできず事後報告になることが多かった。連携をどのようにしてとっていくか課題となっている。(達成度 70%)

5. 機能訓練指導員

- ① 機能訓練士全体で受講したい研修を相談し合い、計4回参加できた。全員参加のため研修後の共有を行う事はなかったが、同じ内容を学んだことで相談しやすく次に活かしやすい環境ができた。(達成度 100%)
- ② 口頭や写真での相談で解決でき、花菜風での実際の場での確認はなかったが、他施設での対応を知ることで新しい発見があり知識の共有に繋がった。年間を通して提案・意見交換ができた。(達成度 84%)
- ③ 業務都合上、実際の食事時の姿勢を確認して回る機会がなかなか作れなかった。職員に声をかけ状態の確認・対応の再検討を行いながら継続してきたが、周知が行き届いていなかった。早期改善できないことも多く、ユニット職員と連携が取れる体制整備が課題である。(達成度 60%)

6. 生活相談員

- ① 職員配置の相談や情報共有のみの会議となってしまうことが多く、他施設との共有はできたが、研修報告や事例検討の実施はできなかった。会議開催方法、事前準備が丁寧にはできなかった。(達成度 20%)
- ② 業務を分担したが、受け身になり他施設相談員の比重が重くなってしまった。(達成度 10%)
- ③ 電話連絡や面会時に家族とは積極的に対話をすることができたが、家族と職員を繋げる関わりが難しかった。入居者・職員とのコミュニケーション不足に課題が残る。(達成度 50%)

7. 介護支援専門員

- ① ターミナルケア後に家族と深く話げたのは 2 件であり、ターミナルケアの件数自体が少なく新入居の件数も少なかった。入居時の関係ができていない中での会話が難しく、日常の関わりの中の会話で引き出す機会を作った。(達成度 30%)
- ② 一人一人の言葉の聞き取りは意識して関わることができた。プランの内容の見直しにとりかかったところであり、来年度も継続して取り組む。(達成度 50%)

II. 入居者の状況

1. 入退去状況

入退	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
退去	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4

2. 退去理由

性別	在宅復帰	要支援	介護保険施設	病院	死亡(病院)	死亡(南風)	計
男	0	0	1	0	0	2	3
女	0	0	0	0	0	1	1
計	0	0	1	0	0	3	4

3. 今年度入居者の入居前の状況

性別	家庭	介護保険施設	福祉施設等	医療機関	計
男	0	0	0	1	1
女	0	2	0	1	3
計	0	2	0	2	4

4. 年齢別(令和6年3月31日現在)

性別	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳
男	0	0	0	2	0	2
女	0	0	1	3	3	5
計	0	0	1	5	3	7
性別	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	平均年齢	
男	1	0	0	5	84.8	
女	6	6	0	24	88.5	
計	7	6	0	29	87.9	

5. 要介護度別入居者数一覧及び要介護度

【実入居者数】 ※各月末実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	11	11	11	11	11	11	11	10	8	9	9	9	122
要介護4	10	10	10	10	10	10	10	11	12	11	10	11	125
要介護5	8	7	8	7	7	8	7	7	8	8	9	8	92
合計	30	29	30	29	29	30	29	29	29	29	29	29	351
平均介護度	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8

【延入居者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	313	341	304	341	341	316	341	300	248	279	261	279
要介護4	300	310	300	310	310	300	310	330	372	341	290	341
要介護5	218	217	230	217	217	196	217	210	248	248	261	248
合計	861	899	864	899	899	842	899	870	899	899	841	899
稼働率(%)	98.9	100	99.3	100	100	96.7	100	100	100	100	100	100

6. 入院状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

入院期間	10日未満	10～20日	21日～30日	30日以上	計
人数	0	0	0	0	0

※入院日及び退院日を含む

7. 外泊(延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ. 入居者の生活状況（令和6年3月31日現在）

1. 食事状況

性別	区分 自立 (見守り含)	一部介助	全介助	経管栄養	計
男	1	2	1	1	5
女	10	11	2	1	24
計	11	13	3	2	29

2. 入浴状況

性別	区分 見守り/声かけ	一部介助	全介助	計	一般浴	中間浴	機械浴(寝浴)	計
男	0	3	2	5	0	3	2	5
女	1	12	11	24	1	16	7	24
計	1	15	13	29	1	19	9	29

3. 排泄状況

性別	区分 自立(排泄前 後の確認含)	誘導介助	オムツ介助	計	夜のみオムツ	膀胱ろう	バルーン カテーテ
男	0	4	1	5	1	0	0
女	0	16	8	24	3	0	2
計	0	20	9	29	4	0	2

4. 移動状況

性別	区分 独歩(不安定含)	杖	車椅子	車椅子(介助)	シルバーカー	歩行器	計
男	1	0	2	2	0	0	5
女	2	0	3	16	2	0	24
計	3	0	5	18	3	0	29

5. 更衣状況

性別	区分 自立	指示・見守り	一部介助	全介助	計
男	0	0	3	2	5
女	0	1	13	10	24
計	0	1	16	12	29

IV. 実施した行事等

行事名	月日	時間	内容
茶娘	5月10日	14:00~15:00	職員が衣装を着て新茶を振る舞う
母の日	5月24日	14:00~15:00	女性入居者の家族に協力依頼し、メッセージカードを作成して渡す。おやつにケーキを作る。
父の日	6月17日	14:00~15:00	男性入居者で好きな物を飲んだり食べたりしながら楽しむ(ビールなど)。
運動会	6月29日	14:00~16:00	おやつ取り競争、玉入れを楽しむ。おやつ取り競争で取ったものをおやつに食べる
七夕	7月7日	14:00~14:30	短冊に願い事を書く。笹を飾り付けて一緒に写真を撮る
納涼祭	8月28日	11:00~15:00	ユニットごとにお好み焼きやフランクフルトや餃子やフライドチキンなどの屋台飯を昼食に食べる。金魚すくいや炭坑節を楽しむ。
秋祭り	11月30日	11:00~15:00	昼食に寿司や茶碗蒸しを食べる。職員が神輿を担いでユニットを回り、秋の野菜的当てゲームを楽しむ。おやつにカップケーキを作り食べる。
クリスマス	12月25日	14:00~15:00	クリスマスケーキのデコレーションを楽しむ
忘年会	12月22日	昼食	入居者からリクエストのあったケンタッキーを昼食に食べる
新年会	1月12日	14:00~16:00	設置した鳥居前におみくじとお賽銭箱を用意し、初詣をする。千本引きを楽しむ。
節分	2月8日	14:00~15:00	職員が鬼に扮し、各ユニットごとにお菓子まきを実施。鬼と記念写真を撮る。
花見	3月27日	14:00~15:00	ドライブに出かけ車から桜を見る。

【各ユニット別の行事・レクリエーション】

花水木	誕生レク(ケーキ作り、お寿司、等)・おやつ作り・季節の飾り作り
花菱草	誕生レク(プレゼントや色紙を渡す、ケーキを食べる、等)・おやつ作り
花菖蒲	誕生レク(プレゼントや色紙を渡す、お菓子作り等)・おやつ作り・クラフト

V. 施設内学習会

種類	日時	内容		講師（発表者）
法人勉強会	5月 書面開催	感染（手洗い・手指消毒）		感染委員会
	7月 書面開催	感染（新型コロナウイルス感染症BCP机上訓練）		感染委員会
	6月 集合開催	不適切なケアを考えよう		身体拘束虐待委員会
	10月 書面開催	感染（ノロウイルスBCP感染予防、食中毒防止）		感染委員会
	12月 書面開催	事故防止について		事故防止委員会
	12月 実施訓練	嘔吐処理実施訓練		感染委員会
	12月 集合開催	虐待と感じたら		身体拘束虐待委員会
	3月 書面開催	事故対応・報告書		事故防止委員会
特養勉強会	1月 動画視聴	認知症（意思決定支援）		特養相談員
	3月 書面開催	ターミナルケア（看取り介護における指針）		看護職員
	3月 書面開催	義歯の取り扱い方法		歯科衛生士
学習発表会	1回目：8月 2回目：12月 3回目：2月 17:45～18:45 施設内開催	南風	2階：飲みにケーション 3階：入居者の気持ちの引き出し方	介護職員 看護職員 相談員 機能訓練士 管理栄養士
		花菜風	ニースを引き出してその先へ	
		第二南風	2階：ユニットケア 3階：介護現場におけるストレスマネジ	
職員勉強会	7月	正しいマナーを身につけよう（認知症入居者への接し方）		介護職員

VI. 花菜風運営推進会

月日	参加者	内容
5月18日、7月28日 9月13日、11月16日 1月18日、3月21日	浜松市健康福祉部介護保険課 地域包括支援センター新津の職員 地域密着型介護老人福祉施設入所者 生活介護について知見を有する者 入居者、入居者家族、地域住民の代表者 事務局（施設長、生活相談員）	活動状況、入居者状況、入居申込者、状況従業者の状況等の報告・評価、令和3年度事業報告、令和5年度事業計画、意見・要望等。

VI. 実習・体験学習受け入れ

浜松市立看護専門学校	2名	7月10日～7月26日
	2名	8月31日～9月20日

VII. 苦情受付件数

0件

VIII. ヒヤリハット・事故報告

1. 事故内訳

転倒・転落	63
薬剤	24
外傷	23
エスケープ	4
異食	13
誤飲	1
その他	25
合計	153

2. 所見

異常なし	99
創傷	2
打撲	1
内出血	10
骨折	0
その他	41
合計	153

3. 発生場所

居室	56
トイレ	4
リビング	60
廊下	7
浴室	17
その他	9
合計	153

4. 介護保険事業者事故報告（浜松市へ報告事例）

	事故内容	所見	状況	賠償保険
1	転倒	腰椎圧迫骨折	居室内で転倒、後日痛み出現し受診	見舞い金

令和5年度 デイサービスセンター南風事業報告

1、事業規模

①利用者人数

令和5年度

	延人員	換算人員	月平均	営業日数	1日当り人数
4月	757	750.00	750.00	25	30.3
5月	817	809.75	779.88	27	30.3
6月	829	819.75	793.17	26	31.9
7月	815	808.75	797.06	26	31.3
8月	740	732.25	784.10	26	28.5
9月	824	816.25	789.46	26	31.7
10月	856	850.00	798.11	26	32.9
11月	831	822.50	801.16	26	32.0
12月	803	797.50	800.75	26	30.9
1月	720	709.75	791.65	24	30.0
2月	786	775.00	790.14	25	31.4
3月	843	834.50	793.83	26	32.4
合計	9621	793.83		309	31.1

※換算人員：1日の利用時間が7時間以上の場合は1人と計上し、5時間以上～7時間未満の場合は0.75人、2時間以上～5時間未満の場合は0.5人と計上します。

令和5年4月から令和6年2月までの1月あたりの平均利用延人員が790人となりましたので、令和6年度は事業所規模が700人から900人以下の大規模型事業所(Ⅰ)として営業していきます。

- ・新規利用者数 43人
- ・終了者数 36人(一か月を超える利用中止も含む)
- ・8月に台風の影響にともなう休業が1日ありました。

②中重度ケア体制加算(45単位/日)について

※要介護の利用者で要介護3以上の利用者の割合が3割を超えている場合に加算

・令和5年度に加算算定については、算定月の前3か月の中重度比率をみながら行い、7月より算定を再開しました。

・1年間(4月～2月の11ヶ月)の期間における要介護3以上の割合が、31.6%でした。

令和6年度は、算定日の属する月の前3か月における利用者要介護3以上の割合が30%を超え算定要件を満たすため中重度者ケア体制加算の算定を行います。

2、日常活動の取り組み

デイサービスセンター南風は、「少しでも長く自宅での生活が継続できるようになる」ことをコンセプトとして、ご家族が自宅での介護を断念した上位3つの項目(BPSDの憎悪・トイレに行けなくなった・食べられなくなった)に対応した機能訓練を中心にプログラムを提供しています。

<認知症リハビリ～認知機能の機能訓練～>

認知症の予防・進行防止・BPSD(認知症の周辺症状)の緩和を目的に実施

・音楽療法

週4日(月・火・金・土)10:30～11:20

- ・回想法
週2日(水・金)13:30～14:50
- ・芸術療法
週2日(火・土)13:30～14:50
- ・園芸療法
毎利用日(月～土)10:00～11:00 ※天候や作物により変動あり。
- ・作業療法(書道・手芸)
書道 水・木曜日 10:00～11:30
手芸 月・木曜日13:30～14:50
- ・脳トレ……(6人を除きその外全員参加)
認知症の予防・進行防止を目的に実施
音楽・回想・芸術・園芸・作業療法等認知症リハに参加しない利用者を対象に実施
- ・はたら倶楽部 月1回程度(夏場・冬場は中止)
登録者が減少しているため、活動ができずにいました。
地域活動の一環にもなるため来年度は活動が再開できるようにしたいです。
- ・フラワーアレンジメント
月1回第2火曜日10:00～11:30
- ・生け花
月1回第3木曜日10:00～11:30

職員の異動等の影響で、作業療法の手芸は3月で終了しました。また、昨年も課題になった屋外での園芸療法やはたら倶楽部は、スタッフの人数確保においても難しい活動です。今後も活動を継続していきたいと思いますが、天候等含め無理なく楽しめる内容していきます。
令和6年度もスタッフの自己学習や経験を積み重ねていくこと、活動を提供するためにスタッフの事前準備の時間も考慮できるようにしていくことをしていきます。

<身体機能の機能訓練>

- ① 個別機能訓練
 - ・転倒防止のための下肢筋力トレーニング
 - ・関節可動域訓練
- ② 在宅生活継続訓練
 - ・立ち上がり動作・排泄動作・嚥下機能訓練

<その他の活動>

- ① 「楽心出」
 - ・地域支援事業として介護予防のための運動を中心にした住民主体によるデイサービス
場所の提供・指導員の派遣
毎週 火・木・日 10時～11時30分 / 14時～15時30分
- ② 地域福祉活動への参加
銭太鼓サークルへの指導員の派遣(月2回)

3、デイ職員研修

- <デイ会議内法人勉強会>
 - ・感染委員会机上訓練(ゾーニング)

- ・感染委員会 BCP 訓練(嘔吐物処理)
- ・事故防止・対応について

<外部研修 ※web 配信含む >

- ・高齢者・障害者施設のための感染予防講座(中級編)・・・杉浦
- ・福祉・介護職員向け感染症対策研修・・・夏目
- ・作業療法士臨床実習指導者講習会・・・望月
- ・介護の日啓発活動街頭キャンペーン・・・加藤由美
- ・安全運転管理者講習・・・山口
- ・福祉サービス苦情解決研修会・・・兼古
- ・老人部会 通所介護職員研修・・・兼古
- ・福祉職のためのストレスマネジメント講座・・・八木
- ・精神疾患の理解・・・加藤あけみ
- ・急変を見逃さないための救急講座・・・土江
- ・科学的介護情報システム(LIFE)研修会・・・山口、夏目、兼古

4、その他の取り組み

通信文「認知症のお話」

家族の認知症理解を深めることを目的に「認知症のお話」という形での通信文をシリーズで作成し、利用者家族に配布しています。

相談員・機能訓練指導員等が中心となり議論を重ね、構成をしました。

- 1、 4大認知症の簡単な紹介
- 2、 デイサービスでの認知症リハビリ紹介
- 3、 認知症の初期の症状を紹介(早期発見をするために)
- 4、 認知症が進行してしまう関わり
- 5、 認知症の方への対応方法(その1:話を聞くこと)
- 6、 認知症の方への対応方法(その2:共感)
- 7、 BPSD(認知症の周辺症状)への対応方法

昨年度より取り組みを開始し、現在、第15部まで作成しました。今後も継続していきます。

5、利用定員 40名

6、営業日・営業時間 月曜日～土曜日(日曜日は休業) 9:30～16:35

7、苦情・ヒヤリハット・事故報告

【苦情】 2件 ※中間報告時より訂正

【ヒヤリハット・事故報告 概要の報告】

ヒヤリハット 13件

事故 6件(内、浜松市へ報告事故1件)

	内容	詳細	対策・対応
4月	転倒 (ヒヤリ)	帰りの送迎時に送迎車から玄関まで手引き歩行時に玄関先で膝折れされる。	立ち合いご家族の協力の元、体勢を整え玄関の中まで手引き歩行で連れていく。膝折れしたときに完全に膝が床に着いていないため外傷等はなし。立ち合い家族に謝罪する。 前月に2件同じ利用者の膝折れがあったため、移動時は状態に合わせて車椅子を使用することにした。また、送迎時は家族と職員2人で介助をするように対応した。
5月	義歯破損 (事故)	口腔ケア時に利用者の下義歯を外した際に義歯が折れてしまう。	口腔内に破損した義歯の破片が残っていないか、口腔内に傷ができなかったかを確認する。外傷みられず。連絡ノート」及び送迎時にご家族へ謝罪する。義歯の劣化も考えられるので歯科往診時に診てもらおうと家族より返答いただく。
6月	転倒 (ヒヤリ)	活動中に床に手をつきしゃがみ込んだところを発見する。	外傷なし。普段より床にしゃがむことがあったため経過観察とした。
7月	外傷 (ヒヤリ)	シルバーカー歩行時にシルバーカーの持ち手を握っていた右の小指を他利用者が立ち上がろうと後ろに下げた椅子に挟んでしまう。	直後は痛みの訴えあり。その後痛み消失。外傷無し。家族に報告し、自宅でも様子観察。特変見られず。
	転倒 (ヒヤリ)	朝の送迎時に玄関から送迎車に向かい手引き歩行で移動中に右足が震え動かなくなり地面に両膝をついてしまう。	その場で一緒に介助していた家族とともに外傷確認。家族へ謝罪する。外傷なし。4月に同利用者の事故続いており、ミーティングにて介助方法の共有を再度おこなった。
8月	転倒 ※浜松市報告事故	ダイルームにてシルバーカー歩行中に他利用者から声を掛けられシルバーカーから手を離しテーブルへ移動しようとしたところ、右足がシルバーカーの左後部車輪に引っ掛かり右体側から横倒しに転倒し、床で右肘、右大転子を打撲する。	意識の有無、打撲部位および痛みの確認、バイタル確認を行う。その後、右足の動きを確認すると、右大腿上部の痛みが強く骨折の疑いがみられたため家族に連絡・説明し浜松市労災病院受診となる。受診結果、右大転子部骨折の診断、入院となる。
	エスケープ (ヒヤリ)	午前の活動中に一人で正面玄関より外に出てしまったところ他事業所職員が発見。	ダイルーム内にお誘いし、外へ出るときは職員へ声をかけてほしい旨をお伝えする。外へ出た目的を当該利用者から伺う。その後、ご家族へ報告・謝罪する。

9月	薬 剤 (苦情)	デイ利用時に張り薬(心血管拡張剤:硝酸イソソルビドテープ40mg)の交換をしていなかったことに対して家族より指摘があった。	事故当日、当該利用者は体調不良にて入浴を中止していた。本来であれば入浴後に交換予定であった貼り薬であったため、交換せずにはいたが、状況を家族に報告をしていなかった。報告をしていれば与薬忘れを防げたことも併せて家族へ謝罪する。また、この件から薬確認表の見直しを再度おこない、入浴介助に係る介護職員と看護職員の業務を擦り合わせた。
	薬 剤 (苦情)	家族より、前回利用時に昼食後薬の内服ができておらず連絡袋に入ったままになっていると指摘があった。	連絡袋から薬を取り出す担当の介護職員とダブルチェック担当の看護職員が双方確認を見落とししていたことが分かり、家族に謝罪。また、薬情報が更新されていなかったことも原因であったため、相談員含め薬情報の更新がないか定期的に確認をしていくことを周知した。
	転 倒 (ヒヤリ)	帰りの送迎時、自宅玄関前にて職員と家族が手引き歩行介助中に膝折れし、両膝が地面に付いてしまった。	その場で一緒に介助していた家族とともに外傷確認。家族へ謝罪する。外傷なし。同利用者の事故続いており、ミーティングにて介助方法の検討を再度おこなった。また、膝折れしても地面に膝が付くことを防ぐように両脇を前からしっかり抱えるように持つようにした方がよい、という意見を共有した。
	食 事 (ヒヤリ)	食事(昼食・おやつ)を持参している利用者に対して誤っておやつ(レモンケーキ)を提供してしまう。	数口食べたところで他職員が発見し、食べるのを止めていただいた。事情を説明し謝罪、持参のおやつ(カステラ)提供した。むせこみなし。帰りの送迎時及び連絡ノートにて家族へ謝罪した。

11月	介助ミス (ヒヤリ)	入浴後、尿道カテーテルの逆流防止の留め具を外し忘れる。	発見後、すぐに留め具を外し尿を排尿バックへ流し、異常なし。入浴介助は2人で行うため必ず2人で確認するよう再度周知する。
	爪切り時出血 (事故)	入浴後、足の爪をカットしている際、右第5趾より少量出血あり。一部皮膚をきってしまった。	創部に絆創膏を貼り保護する。本人・家族に謝罪する。爪切り時に足が動いてしまったこともあるが、リスクがあることを想定し爪切りを行っていくことを共有する。

	転倒 (ヒヤリ)	フロア内を歩行中、自席がわからなくなっており、職員が声掛けて誘導する。誘導の際、そばについていなかったため方向転換時にバランスを崩し両手・両膝をつき転倒する。	方向転換時はバランスを崩しやすいため席がわからなくなっているときはそばについて一緒に席まで案内する。家族に謝罪とその旨の報告をした。
12月	薬剤 (事故)	昼食前の内服薬の飲み忘れ(初回利用時)	新規利用者で初回利用時に起きてしまった。薬の管理方法・情報を多職種で共有・周知する。
1月	転倒 (ヒヤリ)	フロア内の自席より立ち上がり移動しようとした際に転倒。	家族に報告する。また、ご本人と話し合う。自宅でも転んでしまうことがあるようで、方向転換時や体勢を変えるときは特に気を付けたいと認識確認した。
	転倒 (ヒヤリ)	エルゴメーターによる運動後、靴を履き椅子から立ち上がった時にバランスを崩し転倒。	外傷・バイタル確認し異常なし。家族に報告・謝罪する。運動終了後に職員に声をかけてもらうようご本人にお願いする。また、職員も時間を運動終了じかんを見計らって注意するようにしていくことを周知。
2月	介助ミス (ヒヤリ)	入浴後、尿道カテーテルの逆流防止の留め具を外し忘れる。(11月の件と異なる利用者)	発見後、すぐに留め具を外し尿を排尿バックへ流し、異常なし。入浴介助は2人で行うため必ず2人で確認するよう再度周知する。
	外傷 (事故)	脱衣室から浴室へ移動する際に浴室入口に足ふき用で敷いてあったタオルで足を滑らした。職員が手を引いていたため床にしりもちをつくことはなかったが、滑った際に体が半回転し浴室入口ドアに背中をぶつけてしまい、皮膚が擦れ赤くなった。	家族に報告し謝罪。足が滑った原因であるタオルは、状況に応じて使用するように職員間で話し合う。また、誘導時に手を引いていたが、側方や後方から体を支えて誘導する等安全な方法をデイ会議で検討した。
	薬剤 (事故)	昼食後薬の確認不足にて内服を中止した。	内服薬を利用者・利用者家族等が準備する際に介入者が数であるといつもとちがう場所に準備されている可能性があるということを認識し、職員も可能であれば2人以上の目で確認していく。
3月	転倒 (ヒヤリ)	運動器機能のモニタリングのための片足立ちの計測中にバランスを崩し転倒。	家族に報告・謝罪。評価中の環境整備を整える。また、他の評価項目を検討する。

中間報告時に9月薬剤についての事案2件を事故として報告しましたが、ご家族からの指摘があったことから、苦情として対応させていただくこととしました。職員の不注意によるヒヤリハット報告が多く上がったことは、課題としてしっかりと職員に伝えていき、令和6年度は、件数を減らしていきたいと思っております。

令和5年度 第2 デイサービスセンター南風 事業報告

1. 事業規模と利用者数について

令和5年度は大規模型（Ⅰ）の規模区分で運営し、目標とする約900人/月には届かず、744.09人/月となった。その結果から令和6年度は通常規模型となります。

事業規模区分

	平均利用延人員数（※）
通常規模型	750 人以内
大規模型Ⅰ	750 人を超え 900 人以内
大規模型Ⅱ	900 人を超える

（※）平均利用延人員数の算定方法—実人数に下表の数字を乗じた数

サービス提供時間	要介護の場合の乗数	事業対象者・要支援の場合の乗数
2 時間以上 3 時間未満	0.5	0.5
3 時間以上 5 時間未満	0.5	
5 時間以上 7 時間未満	0.75	0.75
7 時間以上 9 時間未満	1	1

	延人員	換算人員	月平均 (換算人員)	営業日数	1日当り 人数
4月	831	826.75	826.75	25	33.24
5月	833	831.25	829	27	30.85
6月	766	762.75	806.92	26	29.46
7月	785	783.75	801.13	26	30.19
8月	764	758.75	792.65	27	28.30
9月	718	716.75	780	26	30.00
10月	781	779.25	779.89	26	29.97
11月	773	769.50	778.59	26	29.60
12月	746	738.75	774.17	26	28.41
1月	517	509.00	747.65	19	26.79
2月	711	708.50	744.09	25	28.34
(3月)	727	725.75	742.56	26	27.91

2. サービスの質向上について

(1) ケア検討会の継続実施

一つひとつのケースを熟知することで、個別ケアの質の向上を目的として昨年度より実施しており、情報収集やそれをまとめる力がつき、充実した検討会を実施することができた。また、その情報をケアの方法や送迎方法、家族との対応方法等に活かすことができた。

しかし、本年度に退職者が重なり、継続することが困難となったため、残念ながら令和5年8月から令和6年3月まで一時中止としました。

- ・5/16 (火) 1回目 Aグループ1ケース
 - ・6/20 (火) 2回目 Bグループ1ケース/Aグループモニタリング
 - ・7/18 (火) 3回目 Cグループ1ケース/Bグループモニタリング
- ※令和6年度4月から再開 6月他事業所ケアマネ招待済。

(2) サービス提供プログラムの見直し

新プログラムを立ち上げて2年が経過し、しっかりと運動量を確保した機能訓練メニューを提供してきたが、利用者様からは「休憩時間が少ない。」「お茶を飲む時間もない。」等の意見が聞かれることが多くなり、プログラム全体を見直すこととした。

プログラム適正化チームを作り、サービス内容の組み換え等を実施した結果、運動量を落とすことなく、「お茶のみ休憩」の時間を作ることができた。

また、「運動ばかりでは楽しくない。」との声もあることから、喫茶店への参加や昼休みのレク活動を積極的に実施するようにした。

※令和6年6月よりバザール南風への参加も検討中

(3) 仲間づくりの支援（手指活動や個別レクの充実）

休憩時間等を有効活用し、選べる小集団のレクリエーション（歌、手指活動、囲碁将棋オセロ、工作、ゲーム等）を実施。利用者同士のコミュニケーション機会となった。また、手指活動プログラムのマンネリ化を防ぐため、グループやひとり一人のニーズに合わせ、オリジナルの訓練道具等を作成し、個別に対応していくことができた。

(4) 勉強会の実施

適切な研修を選定し、年1回/人を目標として、外部研修（WEB研修含む）に参加する機会を作る。また、習得した技術や知識を用いてフィードバックしていく。

- ・5/10 上村千文 「身体のおくみと機能」（他、6/21・7/19の3回研修）
- ・6/15 松田和久 デイサービス事業継続・経営改善セミナー
- ・7/20 加藤みどり 「動き出しは本人から」の介護実践

- ・7/5 三輪渥美 接遇マナー研修会
- ・7/26 佐々木めぐみ 看護の質向上促進研修
- ・8/10 加藤宏美 介護施設・事業所における虐待防止及び身体拘束等の適正化
- ・8/21 石上美佐子 「言いにくいことを伝える技術」
- ・8/22 小楠絵美 福祉・介護施設職員向け感染症対策研修
- ・9/7 加藤宏美 作業療法学科臨床実習指導者会議
- ・9/28 佐々悦子 薬の基礎知識
- ・12/14 大澤雅美 浜松市社協老人部会 通所介護職員研修

※下半期は職員の退職者が重なったため、現在外部研修を縮小しました。

(5) 職員教育制度（新人研修）

第1 デイサービスと協働で、前年度より制作開始した「新人研修用マニュアル」が完成。今後、法人のキャリアパス制度やそれに伴う研修制度に合わせて活用を考えていく。（令和6年4月にマニュアルを活用し新人研修を実施）

3. 地域連携について

(1) 居宅介護支援事業所への訪問

地域のケアマネジャーと相談員との顔の見える関係づくりをするために、居宅介護支援事業所への定期訪問の継続、連携会等イベントへの参加を実施していく予定ではあったが、職員の退職者が重なり一時中止とした。令和6年3月より再開。

(2) 地域福祉活動への参加

アウトリーチ活動の一環として、倉松町サロン再起動支援活動等を通して、認知症予防や機能訓練等をテーマに出張講師を実施する。

- ・5/28（日）倉松町ふれあいサロン 健康や栄養に関する講座 大澤主任相談員
 - ・7/23（日）倉松町ふれあいサロン 自宅でもできる健康体操 松田管理者
 - ・11/16（木）小沢渡町ふれあいサロン 自宅でもできる健康体操 松田管理者
 - ・12/2（土）堤町ふれあいサロン 健康や栄養に関する講座 大澤主任相談員
 - ・12/13（水）米津町ふれあいサロン 健康や栄養に関する講座 大澤主任相談員
- ※新津地区生活支援体制づくり協議体参加 松田管理者

(3) ケア検討会への参加依頼

「(1) ケア検討会」について、外部ケアマネジャーのケースを取り上げる際、サービス担当者会議として参加を依頼する予定であったが、ケア検討会が一時中止しているため、実施していない。（令和6年度6月他事業所ケアマネ招待済。）

4. 苦情・事故・ヒヤリハットについて

【苦情】 2件

(1) 12/22 (金) 朝の送迎時、利用者様ご本人が、寒い中屋外で待っているにも関わらず、送迎車が遅れたことについての苦情。

—原因—

当該利用者からの休みの電話連絡を受けたと勘違いした職員が、そのまま申し送りしたことで送迎リストから外れることとなる。

—対応—

すぐに訪問し、経緯説明と謝罪。「これからは気を付けてください。」とのことで容赦頂く。

今後の対応としては、電話連絡を受けた際は、全てメモに残し、メモにて申し送りをする事とする。

(2) 1/18 (木) サービス提供時間内に同テーブルの他利用者から大声で怒鳴られたとのことで、怒鳴った本人に注意しない職員はおかしい。みんなの前で辱められたことに対して謝罪してほしいとの苦情。

—原因—

大声を出した利用者は脳梗塞、高次脳機能障害の既往があり、易怒性も高く、声の音量調整もうまくできない症状があり。話している内容について、歩行不安定な当該利用者に対して、「隣の席が空いているため、歩行器をそばにおいていいよ。」と話したとのことだが、難聴もあり上手く伝わらなかったため「ここ！ここ！」と大声になった様子。

—対応—

すぐに訪問し経過説明と謝罪。その後、担当ケマアネジャーを含め担当者会議を行い「①当該利用者と他利用者との席を離す。」「②運動グループを別にする。」「③接触をさけるように注意することを職員全員で情報共有する。」ことを決め、ご了承頂く。

【事故報告】 9件

	内容	詳細	対策・対応
4月	転倒	トイレにて転倒。本人曰く、便意があり、慌ててトイレに行き、便座の右側で転倒したとのこと。	外傷を確認。左頬にすり傷。左頭頂部から側頭部あたり内出血と2×1cmの擦り傷。家族に連絡、謝罪し、本人と相談した結果、痛みが続くようであれば受診することとなる。
5月	転倒	鍵がかかったトイレ内で転倒。本人曰く、トイレを済ませ、ズボンを上げようとしたところ転倒したとのこと。	腰の強い痛みの訴えあり。家族に連絡、謝罪、連携し救急搬送にて入院。第一腰椎圧迫骨折。保険にて対応済。今後、歩行器使用の声かけと、歩行状態改善を図り、下肢筋力トレーニングを実施する。
6月	なし		
7月	なし		
8月	誤嚥 誤飲	飴を食べたまま、お茶を飲み、つまらせる。	義歯を外しタッピング。飴を出して、状態確認。状態に変化なし。 本人「もう二度、飴なんか食べない。」 家族に連絡、謝罪し、「昔もリンゴが引っ掛かったことがあった。すみませんでした。」とのこと。
9月	外傷	エルゴメーター訓練実施後、右足くるぶし部分の靴下に出血を確認。エルゴメーター器具の内側に足が当たり擦れた様子。	家族への情報伝達。 足が当たらない大型のエルゴメーターを使用することとする。
10月	外傷	本人の希望で爪を切ったが、その際左足第2趾の皮膚を切り出血。	外傷確認処置。本人、家族に謝罪し了承頂く。ある程度の長さまで切ったら、やすりで対応することとする。
11月	与薬ミス	薬の内容で勝手に解釈してしまい、医師の指示通りに軟膏塗布を行わなかった。	薬局に連絡し、医師の指示を確認後、指示通りに二重塗布を実施した。疑問を感じた場合には、勝手判断せず、必ず医師等に指示を仰ぐこととする。

1 2 月	転倒	入浴時、意識消失。転倒し右側頭部を打つ。数秒後に意識回復。	ベッド臥床し水分摂取。その後受診したが、意識消失に関しては原因不明。入浴時には十分な水分摂取と、長湯のため、本人と話し合い入浴時間を5分とする。
	与薬ミス	左眼に点眼する薬を両目に点眼してしまう。	与薬ミスを始め、度々ミスが発生する職員のため、個別面談を実施し注意を促す。本人、家族への謝罪をし、ドライアイのための点眼薬なので様子を見ることとする。
1 月	なし		
2 月	その他	左第2趾の爪切り時、誤って肉芽を切り出血。	本人、家族へ謝罪。深く切らずにやすり対応することを徹底せずミス。度々ミスが発生する職員のため、個別面談を実施し注意を促す
3 月	なし		

【ヒアリハット】 17件

	内容	詳細	対策・対応
4 月	転倒 転落	自席とテーブルの間で尻もち。 本人曰く、テーブルを支えて立ち上がろうとしたところ、右足が滑り尻もちをついた。外傷なし。	看護師による状態確認。外傷なし。 靴底のゴムのすり減り等確認。 立ち上がり訓練の継続と焦らずゆっくり動くように声掛けの実施。
	転倒	シルバーカー歩行中、職員に支えられながら、右側にゆっくりと転倒。 外傷なし。	看護師による状態観察。バイタル安定。外傷なし。てんかんによる転倒の可能性が高く、今後も繰り返すことが考えられる。 右側に倒れる傾向から、歩行介助は必ず右側に立つようにする。
5 月	膝折れ	洗面所で手洗い中に膝折れする。	看護師より状態確認。バイタル等以上なし。家族に連絡し「家でもよくある。」とのことで、今後は常に近位にて見守りをする事とする。

6月	なし		
7月	転落	入浴洗身中、椅子から静かにすべり落ちる。外傷なし。	座位保持のバランスをとることが難しくなっている。洗身中は目を離さず、肘付きのシャワーチェアを導入し使用することとする。
8月	なし		
9月	転落	椅子からの転落。意図は不明だが、何かをしようとして靴を脱ぎ、その際、前方に転落するところだった。	看護師による状態確認。右前額発赤。その他外傷なし。家族での連絡、謝罪。今後の対応は、認知症のため行動予測は難しいが、できる限り目を離さないようにする。
10月	エスケープ	一人で玄関に向かい、自動ドアを叩いているところを事務員が発見する。「もうお世話になったので帰ろうかと思って。」とのこと。	一緒に歩き話をする。帰りたい気持ちは変わらないが、言葉並べカードを渡すと他利用者とゲームを始める。
11月	転倒	体調が良くないため、ベッドに職員と向かう途中膝折れ。低血圧による意識消失。外傷なし。	車イスに移乗介助し、ベッドに臥床。間もなく意識が戻る。原因不明の血圧低下があるので、体調不良時は車イスで移動介助することとする。
12月	転倒	席の横に鍵を落とし、立位の状態で拾おうとして体制を崩して床に座り込んだ。外傷なし。	本人と話し合い「床に物が落ちた時は職員を呼ぶこととする。」とのこと。継続して筋力トレーニングを実施していく。
	その他	補聴器をしていることを確認せず、そのまま入浴介助を実施し、補聴器を濡らしてしまう。故障なし。	本人、家族への謝罪。 補聴器の使用の確認を徹底する。
	その他	洗面所でハンドソープの蓋を開けて、飲もうとしていた。	歯磨きが終わるまで見守り対応。認知症の方が歯磨きをする場合には、ハンドソープは手の届かないところに置くようにする。 ※当日発熱しコロナ陽性。

1月	なし		
2月	その他	うがい用のコップにハンドソープの入れようとしていた。	認知症の方が歯磨きをする場合には、ハンドソープは手の届かないところに置くようにすることを徹底する。
	転倒	車イスへの移乗の際、自身の手が滑り転倒。外傷なし。	家族への状況報告と謝罪。了承頂く。本人の体調不良もあり起こった転倒でもあるので、本人の体調に合わせたサポートをするように徹底する。
	その他	苗字違いの同名の利用者を勘違いし南風まで送迎する。	すぐに送迎し直し謝罪。今後はリストをメモし、送迎時に点呼確認することとする。
3月	転倒	機能訓練終了後、意識消失し転倒。外傷なし。	車イスに移乗しバイタル測定。家族への報告。自宅でもてんかん発作が続いているとのこと。体操をするときは職員が隣に着くこととする。
	その他	朝のバイタル測定時、血圧が高かったにも関わらず入浴してしまう。	入浴中、入浴後にも特に変化なし。バイタル異常の利用者は再検査するとともに他看護師に相談することとする。度々ミスが発生する職員のため、個別面談を実施し注意を促す。
	その他	在宅酸素の設定量を間違え、利用者様から注意を受ける。	すぐに修正し謝罪。酸素量のメモの確認の徹底。度々ミスが発生する職員のため、個別面談を実施し注意を促す。
	その他	食形態を間違えて配膳し、食べ始めたところ、職員が気づき至急取り換える。	食事配膳の際は、本人の顔とネープレートを確認し、配膳時点呼確認することとする。
	エスケープ	認知症ではない利用者様（隣の敷地の利用者）が利用中一人で外に出て、自分の畑を見に行っていた。	エスケープとは違うが、転倒の危険性等あることから、本人と話し合い職員に声をかけるようお願いする。

	その他	電動エルゴメーター実施し、麻痺側がペダルからずれて、機器に接していた。外傷なし。	当該利用者の使用時の足の固定方法や高さ調整を機能訓練士とともに検討し決定。周知実施することとした。
	その他	送迎時、玄関先のマットの上で滑るようにバランスを崩す。職員が支えるが支えきれず転倒。外傷なし。	他事業所送迎時にも転倒を繰り返していたとのこと。すべり止めマットを引き、住環境を改善することとした。

令和5年度 指定居宅介護支援事業所南風 事業報告

1. 基本方針

例年の基本方針通り、地域の要介護者等やその家族が住み慣れた土地で安心して生活を送ることができるように適宜必要な支援を行ってきた事で、居宅介護支援の実績数は（表1）の通りとなりました。

居宅介護支援実績数（表1）＊要支援については、（ ）内が0.5換算での請求件数になっております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護	249	258	261	256	259	257
要支援	88 (44)	98 (49)	93 (46.5)	89 (44.5)	91 (45.5)	91 (45.5)
合計	293	307	307	300.5	304.5	302.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	259	254	257	245	241	235
要支援	92 (46)	85 (42.5)	85 (42.5)	89 (44.5)	88 (44)	86 (43)
合計	305	296.5	299.5	289.5	285	278

新規利用者の受け入れについては、上半期はお断りすることなく受け入れを継続出来ていましたが、夏にパート1名退職。その後すぐに人員補充ができないままのため、新規を制限しました。1月に1名職員の補充ができたため、新規の受け入れの再開ができておりましたが、包括との職員の入れ替え、退職者が出るなど、落ち着かない状況が継続している。

介護請求については、上半期は250件を超える請求が継続出来ていたが、下半期は新規の新規の受け入れの制限につき、250件に届かなかった。

初回訪問の2人体制は継続できています。

アセスメント力を高めること、ご本人・ご家族の意向をきちんと聞き取ること、2人体制することでケースの共有ができ、一人で抱えることを減らしています。

しかし、まだまだ、すぐにサービスの利用に繋がらないケースもあります。サービスに繋げることが目的ではないが、何らかの心配があり、介護保険の申請に至っていることの聞き取りが不足していることもあります。今後も引き続き居宅会議での意見交換を実施し、振り返りを行なっていきます。

要支援の利用者さんは、増加傾向にあり、少しお断りをしています。新津地区の受け入れは行なっています。

2. 組織体制

・常勤 8.6 名でスタートし、9 月から 4 か月ほど 7.8 名の体制となりました。

1 月に 1 名の新人の介護支援専門員が入職し 8.6 名に戻すことができました。

1 名の新人介護支援専門員には、主任介護支援専門員がプリセプターにつき、ケアマネジメントの流れを丁寧に教えるようにしています。

デイサービス、ショートステイの紹介率については、デイサービス南風への紹介率は上がってきていると思いますが、要介護 3 以上の方が入所や入院になってしまうことも増えてしまったのが現状です。第 2 デイサービス南風への紹介率は減ってしまっているように感じます。ショートステイに関しては、新規の紹介など行っており、件数は増加している。

3. 研修など

・各研修は、リモートと集合形式での研修となり、顔の見える関係作りができるようになってきました。今後も各行政区の研修への参加を継続していきます。

・他事業所との事例検討会については、浜松市連絡協議会南区支部の研修で実施しました。

・職員の更新研修は 3 名参加し、主任介護支援専門員研修は 1 名参加しました。

4. 地域交流、貢献活動等

・新型コロナの影響で、バザールの開催は見合わせていました。

R 5 年度から元気で過ごそう会・喫茶ボランティアの再開を行ないました。

5. その他

・主任介護支援専門員 3 名を有する大規模事業所の責務をして、行政や地域包括支援センター、介護支援専門員連絡協議会南行政区支部等各組織と連携し、地域福祉の向上に努められるよう研修協力などの実施を継続しました。

・地域包括支援センターとの連携も強化し、特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所として、困難ケースの受け入れも行なってきました。まだ、主任介護支援専門員が中心となって受け入れているため、居宅内の会議で関わり方や多職種との連携を伝えるようにしました。また、地域ケア会議などの開催時には、参加できる職員が同行するようにしました。

・月に 1 回居宅会議の中で、事例検討会やアセスメントの振り返りを行ない、自分だったらと一人一人が意見を言えるようになりました。

・年に 1 回職員の面接を実施し、居宅内の問題点などを聞き、会議の中で改善策を全員で一緒に考えることは引き続き行なってきました。ライフワークバランスが取れるような体制づくりは引き続き行なっていきます。

①担当圏域の概要 (R4.10.1時点)

地区名	年齢構成				高齢者の内訳			要介護高齢者	
	人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上	高齢化率	前期高齢者	後期高齢者	事業対象者	要支援 要介護者
飯田地区	12,506人	1,482人	7,788人	3,236人	25.9%	1,578人	1,658人		
白脇地区	21,872人	2,934人	13,307人	5,631人	25.7%	2,714人	2,917人		
	34,378人	4,416人	21,095人	8,867人	25.8%	4,292人	4,575人	127人	410人 1,098人

<圏域の特徴>

浜松市の高齢化率は、令和4年10月現在で28.4%であり、地域包括支援センター三和の担当圏域である飯田・白脇地区の高齢化率は25.8%である。昨年と比較すると、浜松市全体と飯田・白脇地区ともに0.3%の上昇となっている。圏域の特徴として、高齢化率が20%前後の町がある一方で、高齢化率が40%近い町があり、白脇地区では国道1号線の南北、飯田地区では国道1号線の東西で大別することができる。生産年齢人口(15歳～64歳)が多い町の周辺には、スーパー等の商業施設が充実しており、食料品や生活用品等の生活必需品の購入に困ることは少ない。一方で、生産年齢人口が少ない町の周辺には、商業施設が少なく、個人商店等の廃業により、生活必需品の確保が容易ではなく、課題といえる。

介護保険サービスでは、多くのサービスにおいて、圏域住民のニーズに添えるだけの事業所とサービス量が充足しているといえるが、介護人材の不足と多様化するニーズを背景に、訪問介護の調整が難航することがある。そして、それらを調整するケアマネジャーの不足は顕著であり、介護予防支援においては、ケアマネジャーの選定が容易ではなく、要介護においても難航することがある。

また、介護保険サービスの対象とならない高齢者が利用できるサービスや仕組みが成熟しておらず、運営主体の規模や実績に差異があり、誰しもがわかりやすく、安心して利用できるサービスになり得ていない。そして、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目的とした、生活支援体制づくり協議体の活動では、熟議を繰り返しているもの、具体的な活動や社会資源の創出に至っていない。

地域力としては、新型コロナウイルスが感染症上の位置づけが第5類に移行されてから、サロンやシニアクラブ等の活動が活性化している。その他、地区社協や地区民協が組織的かつ活動的であるが、地区民協においては、令和4年度の改選に伴い、白脇地区・飯田地区ともに3割程度の民生委員が入れ替わった。そのため、新たな民生委員等との関係づくりに注力する必要がある。

<把握している地域課題>

- ・徒歩圏内で行ける商業施設(スーパー等)が無い地域では、運転免許返納や身体機能の低下により、商業施設に行く手段がなく、生活必需品の購入・確保が難しい。
- ・利便性の悪さから地域活動に参加したくても参加できない高齢者がいる。それらの社会参加を推進するインフォーマルな仕組みの創出が必要となっている。
- ・介護サービスを利用したい高齢者に対応できるケアマネジャーが不足しており、特に介護予防支援においては、ケアマネジャーの選定が難航する。また、改善したが、介護申請から認定までに時間を要することがあった。認定結果が遅れることで、結果として迅速にサービスが利用できないことがある。

②重点目標

- ・多くの職種や機関との連携強化を図り、各種研修会や交流会等をコーディネートする。
- ・アウトリーチ活動として、地区社協や地区民協、サロンやシニアクラブ等の地域団体に積極的なアプローチを行う。また、それら諸団体と地域の

介護支援専門員を繋ぐ活動を実施する。

- ・団塊の世代が後期高齢者となる現状を鑑みて、『75歳全戸訪問』に注力し、地域包括支援センターの周知を行う。
- ・対象者が『若いへの備え』を意識化できるように、専門講師等の協力を得ながら、家族介護支援事業等を開催する。特に、認知症の方やその家族が集える家族会等の開催に注力する。
- ・安心して暮らせる地域を目指し、生活支援体制づくり協議体の活動と連動して、地域課題を発見し、社会資源の周知・創出に努める。

④実施計画（活動内容）

業務名	実施計画	実施計画に対する達成状況
総合相談支援	<p>① 「75歳全戸訪問」や出張相談所「ちよこつと相談（2か所）」「いきがい相談（1か所）」の継続実施。また、地域の店舗（金融機関・スーパー等）と調整し、新たな出張相談所の開設を試みる。</p> <p>② 「断らない総合相談窓口」を目指し、多くの職種や機関との連携強化をする。方法として、「みなみ区Love」等においてそれらとの連携促進を図る。また、「みなみ区Love」の開催方法については、WEB開催のほかに、集合形式でも開催する。</p> <p>③ 地区社協や地区民協との顔の見える関係構築を促進し、また、サロンやシニアクラブ等、地域の各団体からの協力依頼に柔軟に対応することに関係性をつくり、地域に根付いた総合相談を行う。</p> <p>④ ホームページ、ブログの更新頻度を維持し、介護者世代への周知を図る。</p> <p>⑤ タブレットを活用し、画像や動画などを用いて、わかりやすく、想像がしやすい、情報提供をする。</p> <p>※①②③④⑤を行うことで地域への周知活動や啓発活動を行うとともに、ネットワークを構築し潜在的の早期発見・早期対応を目指す。</p> <p>⑥ 毎日の始業時に業務の進捗状況の確認と共有化を行うとともに、センター内ミーティングを月2回実施し、事業計画の進捗状況の確認、企</p>	<p>① 「75歳全戸訪問」を目標に掲げたが、一部の訪問にとどまり、十分に実施ができなかった。「ちよこつと相談（1か所）」を実施した。「いきがい相談」は、ふれあい交流センター江之島が改修工事のため未実施。新たな出張相談所の開設は、スーパーや金融機関等との調整ができず、未実施。</p> <p>② 「みなみ区Love（みなみクラブに改称）」は、旧南区地域包括支援センター（新津・芳川）と合同開催にて、集合形式で10回開催し、多機関多職種との連携を図った。参加者の減少が課題となった。</p> <p>③ 地区社協や地区民協の定例会に参加し、包括業務の事例報告を通じて関係構築を行った。シニアクラブやサロン等の地域団体への協力は29件行った。</p> <p>④ 介護者世代や地域住民等への周知を目的に、ブログの更新を計17回実施した。</p> <p>⑤ タブレットやPC、プロジェクトを用いてわかりやすく、想像がしやすい、情報提供を行った。</p> <p>⑥ 月2回のミーティングを定期開催し、予定の確認や活動の進捗状況の報告、研修報告、事業計画の立案等を協働で行った。また、毎日の朝礼等で情報共有を行い、支援が停滞することが無いように配慮した。</p> <p>⑦ 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点</p>

	<p>画立案等を協働で行い、チーム力向上を目指す。</p> <p>⑦ 初回面接や初回訪問は2名以上の職員で対応し、より良い初動対応を行う。</p>	<p>から支援方法を検討した。</p>
<p>権利擁護</p>	<p>① 必ず2名以上の職員で対応するとともに、行政等の複数機関で支援を行い、適切な支援を目指す。</p> <p>② 成年後見人制度の申立てで直接支援件数は年3件以上を目標とする。</p> <p>③ 社会福祉協議会と連携をし、日常生活自立支援事業の情報提供、利用の支援を行う。</p> <p>④ ケースの内容に応じて、成年後見制度や身元保証を取り扱う団体等と連携する。</p> <p>⑤ 成年後見制度や詐欺等消費者被害等の周知を、家族介護支援事業の開催やシニアクラブ・サロン活動への協力を通して啓発活動を行う。</p> <p>⑥ 南区地域包括支援センター（新津、芳川）と協働で、社会福祉士が主体となり、権利擁護の研修会を開催する。</p>	<p>① 職員2名で対応し誤謬を防ぐとともに、成年後見制度の申立てについては、行政や弁護士事務所、司法書士事務所等と協力して支援を行うことができた。</p> <p>② 成年後見制度の直接支援件数は2件。</p> <p>③ 日常生活自立支援事業の利用開始ケースはなかったが、社会福祉協議会と連携して情報提供をした。</p> <p>④ ケースの内容に応じて、浜松成年後見センター等の団体と連携をした。</p> <p>⑤ 成年後見制度や詐欺等消費者被害の周知は、シニアクラブやサロン活動等を通じて6回実施した。</p> <p>⑥ 旧南区地域包括支援センター（新津、芳川）、浜松くらしのセンターと協働で、「消費者被害」について研修会を開催した。</p>
<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援</p>	<p>① ケアマネ情報交換会「(仮)完熟&フレッシュ三和クラブ」を定期開催し、運営においては地域の主任介護支援専門員に協力を得る。</p> <p>② 地区社協や地区民協、サロンやシニアクラブ等の活動に、地域の介護支援専門員と参加する。</p> <p>③ 南区地域包括支援センター（新津、芳川）と地域の介護支援専門員が協働で、「社会資源マップ」の維持管理の活動を定期的実施する。</p> <p>④ 演習・研修について、主任介護支援専門員と協働で企画・準備・開催を目指し、そのコーディネートを行う。</p>	<p>① 集合形式にて1回開催した。</p> <p>令和6年度の定期開催を目指し、参加予定者及び地域の主任介護支援専門員と活動内容を検討した。</p> <p>② 諸団体や介護支援専門員との調整ができず、地区社協や地区民協、サロンやシニアクラブ等の活動に、地域の介護支援専門員と参加する活動ができなかった。</p> <p>③ 旧南区地域包括支援センター（新津、芳川）及び地域のケアマネジャーと協働で「社会資源リスト」の維持管理を行った。</p> <p>④ 旧南区地域包括支援センター（新津・芳川）と協働で、「ACP」「施設情報」「困難事例」「BCP」をテーマにして、演習・研修を実施した。ま</p>

	<p>介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</p>	<p>① より適切なアセスメントを実施するため初回面接や初回訪問は2名以上の職員で対応する。 ② 対象者自らがサービスの選択をできるように、心身の状況に応じたサービスの複数提示する。 ③ 指定介護予防支援事業のプランを含め、職員1人当たり20件以下とする。</p>	<p>た、浜松市介護支援専門員連絡協議会南区支部主催の「事例検討会」の開催に協力した。</p> <p>① 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点から支援方法を検討して、対応をした。 ② 対象者の希望等を確認し、複数の職員で支援方法を検討し、対象者が選択できるように、支援に必要なサービスを複数提示した。 ③ 職員ひとりあたり、平均8.9件(介護予防支援・ケアマネジメントA)を担当した。</p>
<p>在宅医療・介護連携推進</p>	<p>① 浜松市医師会との合同研修会は、南区地域包括支援センター(新津、芳川)と浜松市介護支援専門員連絡協議会南区支部が協働で開催する。 ② 歯科医師会との合同研修会は、南区地域包括支援センター(新津、芳川)と行政担当課が協働で開催する。 ③ 多職種連携情報交換会「みなみ区Love」は、新規参加者が増えるように呼びかけの対象を拡大し、より多くの機関との顔の見える連携づくりを目指す。「みなみ区Love」の開催方法については、WEB開催のほかにも、集合形式でも開催する。 ④ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)をテーマとして、家族介護支援事業や講話活動を行う。また、専門職に対して、研修会等を開催する。</p>	<p>① 浜松市医師会主催の研修『多職種連携』に、担当包括として運営に携わった。 ② 実施なし。 ③ 「みなみ区Love(みなみクラブに改称)」は、旧南区地域包括支援センター(新津・芳川)と合同開催にて、集合形式にて10回開催し、多機関多職種との連携を図った。 ④ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を含めた家族介護支援事業は開催できず、地域のシニアクラブ等にて、「もしバナゲーム」を活用して、参加者の理解を深めた。</p>	
<p>生活支援・介護予防事業推進のための基盤整備</p>	<p>① 既存の「居場所」であるサロン団体に對して、情報交換会を開催する。 ② 介護支援専門員等の地域で活動する専門職を協議体に繋げ、協議体での熟議を活性化し、「居場所空白地」や「活動空白地」に新たな社会資源を創出する。 ③ 「きらきらクラブ」「さんさんクラブ」は、活動の継続と参加者による主体的な運営がされるように後方支援をする。</p>	<p>① サロン団体が集まっでの情報交換会が開催できなかった。 ② 「協議体」にて、「居場所空白地」や「活動空白地」の議論はなかつたが、中学生参加による地域活動の活性化や家事支援の社会資源の創出を目指し熟議を重ねた。家事支援は具現化していない。 ③ 「きらきらクラブ」「さんさんクラブ」は、代表者の変更があつたが、活動が滞らないよ</p>	

<p>うに後方支援をした。また、「深層筋体操ク ラブ」には、定例会やトレーナーとして、サ ロン等に参加をして活動支援をした。</p> <p>④ 地域のシニアクラブやサロン等において、 「健康講座+体操等」をテーマに活動した。 また、地域の訪問看護ステーションの協力を 得て活動をした。</p> <p>⑤ ロコトレサロンの新規団体は2か所。「継続 団体普及員養成講座」は開催できなかった。 「ステップアップ研修（普及員の集い）」を 開催できた。</p> <p>⑥ 協力依頼がなく実施ができなかった。</p>	<p>④ ロコモ指導員やいきいきトレナーの資格を 活かし、地域の各サロンへの出張教室を開催す る。</p> <p>⑤ ロコトレ普及員交流会を開催し、ロコトレグル ープの質の向上を図る。</p> <p>⑥ 地域のサロン活動等に付属していないロコトレ サロンへ出向き、交流を深めるとともに、適 宜指導等行う。</p>	
<p>① 認知症サポーター養成講座は計3回実施(企 画2件)。キャラバンメイトとの合同開催の 他、浜松市立白脇小学校4年生を対象に実施 した。</p> <p>② 活用実績4件。</p> <p>③ 家族介護者交流事業として、オレンジシール 利用者やその家族等を対象とした交流会を 計1回実施した。そのなかで、浜松磐田信用 金庫三和支店の協力を得て、「認知症とお金」 をテーマに認知症の方を介護する家族に情 報提供をした。</p> <p>④ 現況確認を年3回実施した。</p>	<p>① 認知症サポーター養成講座は、小中学校や一般 企業、地域のサロン等へ呼びかけを行い、企画 分と依頼分併せて、年3回の実施を目指す。 ※ はままつあんしんネットワークを対象と した認知症サポーター養成講座開催する。 ② 認知症初期集中支援チームの活用目標を年3件 とする。</p> <p>③ 地域の介護支援専門員の協力を得て、オレンジ シールを利用している本人やその家族の交流 会を開催する。年3回目標。</p> <p>④ オレンジシール登録者の現況確認を年3回の頻 度で行う。</p>	<p>認知症施策の推進</p>
<p>① キャラバンメイトと合同開催にて、民生委員 を対象に実施した。企業対象は未実施。</p> <p>② 地域包括支援センター新津が担当をした 認知症ひとり歩き(徘徊)模擬訓練事業に協 力した</p> <p>③ 浜松市立白脇小学校4年生を対象に認知症 サポーター養成講座を実施した。</p>	<p>① 見守りネットワークを対象に認知症サポータ ー養成講座を行い、認知症に関する理解促進を 図る。</p> <p>② 認知症ひとり歩き模擬訓練事業に協力し、ひと り歩き高齢者への声掛け訓練を行い、地域への 啓発活動とする。</p> <p>③ 圏域小中学校（白脇小学校、飯田小学校、東部 中学校）にて、認知症や地域の見守りについて 講座を行えるように、小中学校と調整する。</p>	<p>地域見守り支援</p>

	<p>① 「みなみ区Love(みなみクラブに改称)」は、旧南区地域包括支援センター(新津・芳川)と合同開催にて、集合形式にて10回開催し、多機関多職種との連携を図った。参加者の減少が課題となった。</p> <p>② ケア会議2件実施。 ○個別ケア会議2件。 ・独居で認知症、病識がなく困りごとを上手く周囲に伝えることができず介入困難なケース。 ・自宅の建屋や庭木の整備がされておらず、ライフラインも通っていない環境で生活している。場に適さない行動もあるなか、地域での見守り体制を検討したケース。 ○圏域ケア会議0件 ③ 研修会の開催は未実施。</p>	<p>① 多職種連携情報交換会「みなみ区Love」を再開・継続し、今後も連携強化を図る。また、「みなみ区Love」の開催方法については、WEB開催のほか、集合形式でも開催する。 ※ 参加者の意見を聞き取り、年間予定を作成する。</p> <p>② 個別ケース地域ケア会議を繰り返し行い、共通する課題を見出し、研修等につなげていく。</p> <p>③ 圏域ケア会議の結果に基づき、各機関の活動の理解を目的に研修会を立ち上げ、各機関との連携の強化を目指す。</p>
<p>地域ケア会議(多職種協働による地域包括支援ネットワーク)</p>	<p>① 初回相談は、職員2名で対応し、複数の視点から支援方法を検討して、対応をした。</p> <p>② 対象者の希望等を確認し、複数の職員で支援方法を検討し、対象者が選択できるように、支援に必要なサービスを複数提示1した。</p> <p>③ 職員ひとりあたり、平均8.9件(介護予防支援・ケアマネジメントA)を担当した。</p>	<p>① より適切なアセスメントを実施するため、初回面接や初回訪問は2名以上の職員で対応する。</p> <p>② 対象者自らサービスの選択をできるように、心身の状況に応じたサービスを複数提示する。</p> <p>③ 指定介護予防支援事業のプランを含め、職員1人当たり20件以下とする。</p>
<p>指定介護予防支援</p>	<p>① 月2回のミーティングにて業務内容の評価及びヒヤリハットの振り返りを行い、業務改善に努めた。 ※ 苦情件数1件 認知症の疑いがある近隣住民についての相談。相談者が当センターの対応に納得ができず、浜松市高齢者福祉課に苦情が入る。 ※ 令和5年度から、センターの開設日を月～土曜日(但し、祝日、12月29日～翌</p>	<p>① センター内ミーティング等で業務内容の評価を行い、改善案に取り組み、評価を行い、定着を図る。 ※ 令和5年度から、センターの開設日を月～土曜日(但し、祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)とし、開設時間を8時30分～17時30分とする。</p> <p>② 社会福祉士養成課程(聖隷クリスティー大学・静岡福祉大学等)、在宅看護実習(浜松市立専門学校等)の実習生を受け入れる。</p>
<p>その他</p>		

年1月3日を除く)とし、開設時間を8時30分～17時30分とした。

② 社会福祉士養成課程(聖隷クリスミア大学2名・静岡福祉大学2名)、在宅看護実習(浜松市立専門学校 1年生4名、3年生14名)の実習生を受け入れた。

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人ほなみ会